PICTAR ヘルプガイド
PICTAR アプリ

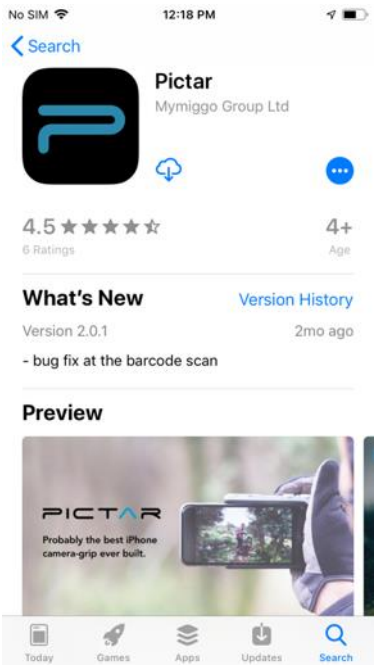
PICTAR アプリの使い方

1. PICTAR アプリのダウンロード方法

PICTAR アプリは、PICTAR 製品を最大限に活用できる専用アプリです。PICTAR アプリから、撮影の調整を行ったり、PICTAR 本体を操作したり、スマートフォンの標準カメラでは使用できない機能を操作できます。

専用アプリは、iPhone および Samsung、Sony、Huawei、Google Pixel などの主要なスマートフォンで使用ができます。くわしくは、アプリ配信サイトの使用環境をお読みください。
スマートフォンのアプリストアより、PICTAR アプリを検索します。検索された PICTAR アプリをダウンロードして、画面上の指示に従ってください。（※日本国内のアンドロイド用アプリは、2020 年 1 月現在、配信日未定です。）

PICTAR は、多くのスマートフォンで動作するため、異なる機種のスマートフォンでも家族や友人とで PICTAR を共有して使えます。PICTAR を使用したいスマートフォンへ専用アプリをダウンロードするだけで、PICTAR が使用できます。



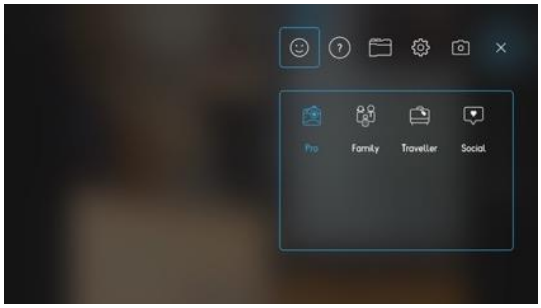
PICTAR アプリの使い方

初回起動以降では、アプリの起動の際に撮影モード「プロ、ファミリー、トラベラー、SNS」の選択項目が表示します。

各撮影モードは、用途に応じて最適化されたモードになります。

「プロ」は、PICTAR の多くのカメラ機能となります。

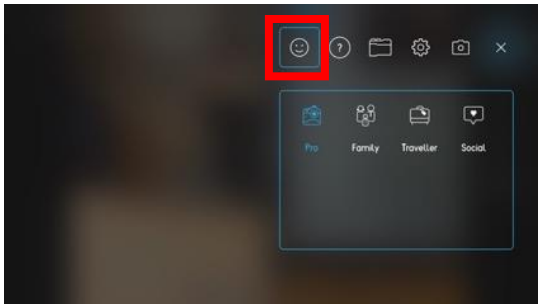
「ファミリー」は、家族や友人など人物の撮影を多く行う場合に最適な機能となります。
「トラベラー」は、屋外や風景写真に最適な機能となります。
「SNS」は、ソーシャルメディアに投稿しやすい写真撮影に最適な機能となります。



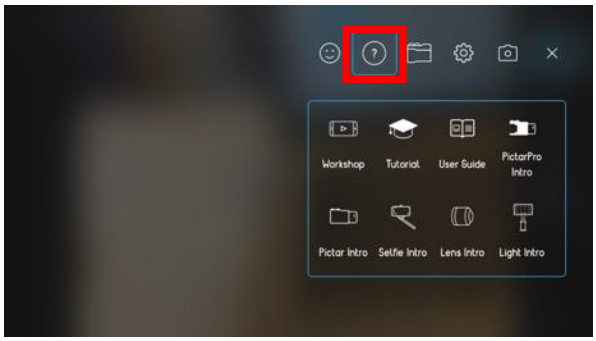
設定メニューから、撮影モードを切り替えられます。

設定
歯車アイコンをタップすることで、各種設定が行えます。

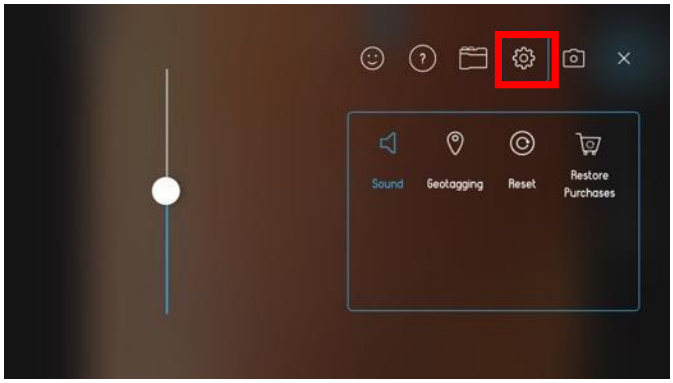
1.「スマイリー」アイコンは、「プロ、ファミリー、トラベラー、SNS」の各撮影モードを変更できます。



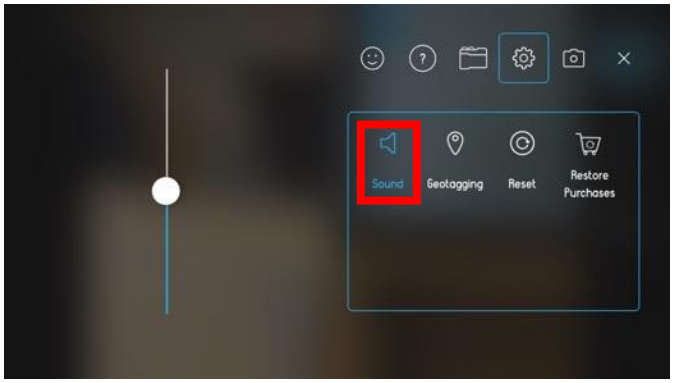
2.「？」アイコンは、情報メニューとなります。ワークショップやチュートリアル、各 PICTAR 製品の初期設定を行えます。



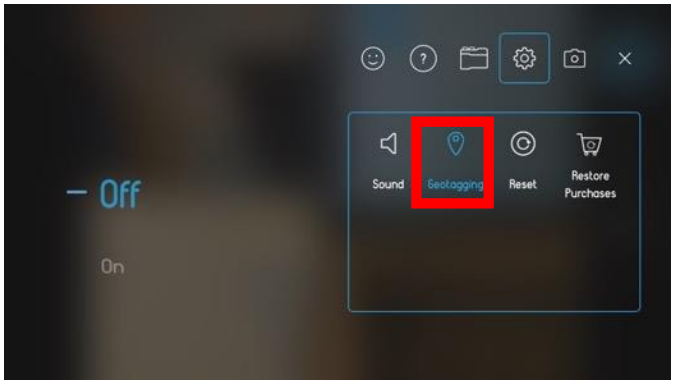
3.「歯車」アイコンは、設定メニューとなります。操作音、位置情報サービス等の設定が可能です。



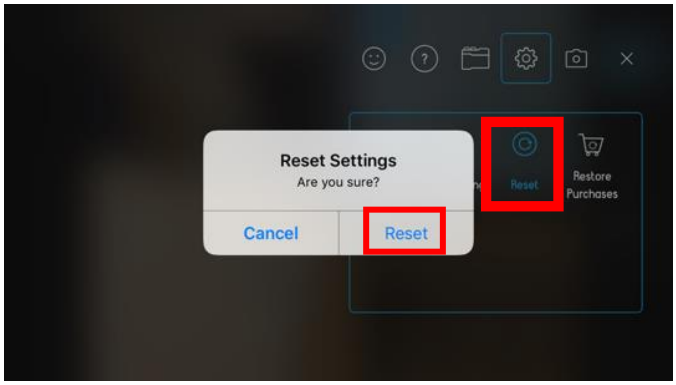
・操作音
操作音の調整ができます。シャッター音は消せません。



・位置情報サービス
写真に位置情報もいっしょに記録するか選択できます。



・リセット
アプリの各種設定をリセットできます。



5.「カメラ」アイコンは、各モードの詳細設定を行えます。

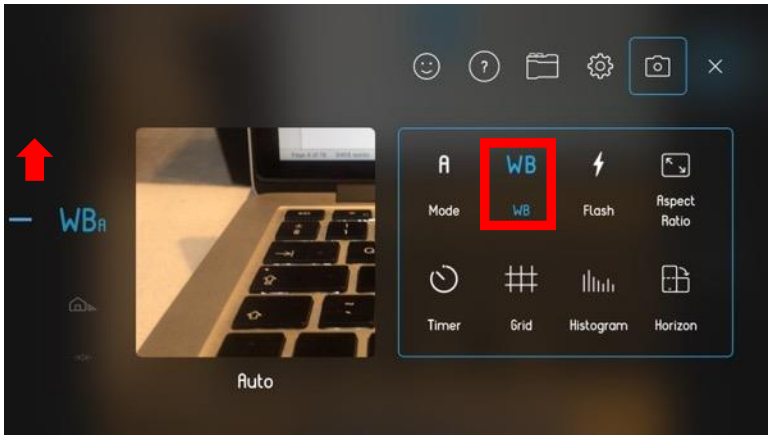
・モード

PICTAR の撮影設定を多数モードから選択できます。

・ホワイトバランス

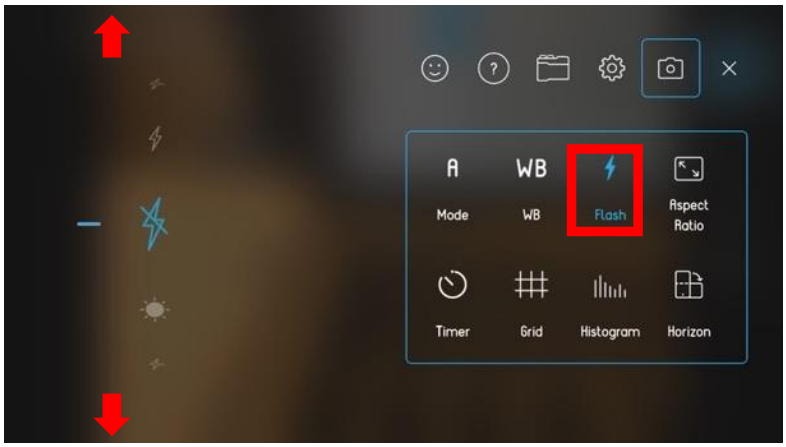
特定のホワイトバランスを設定したり、WBA 設定で自動ホワイトバランスにも設定できます。その他、撮影範囲内の光源と一致するように、日陰/晴れ/白熱/曇り/蛍光等の設定ができます。

（※一部の撮影モードでは使用できません。）



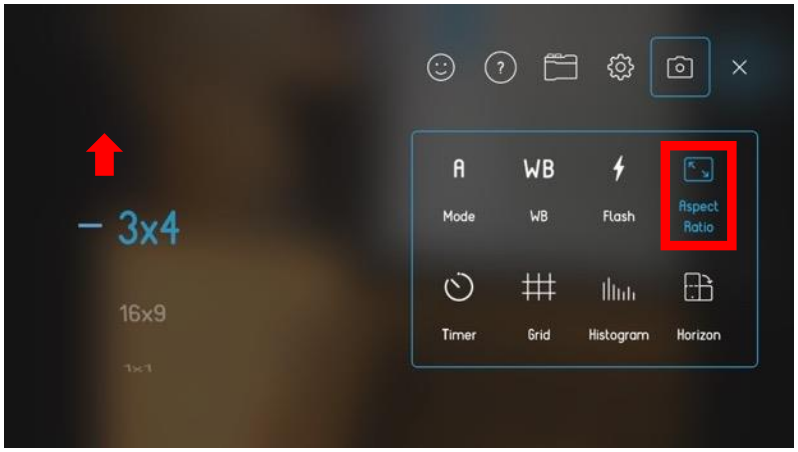
・フラッシュ

フラッシュモードには、フラッシュのオン／オフ／自動フラッシュ／フルパワーフラッシュがあります。



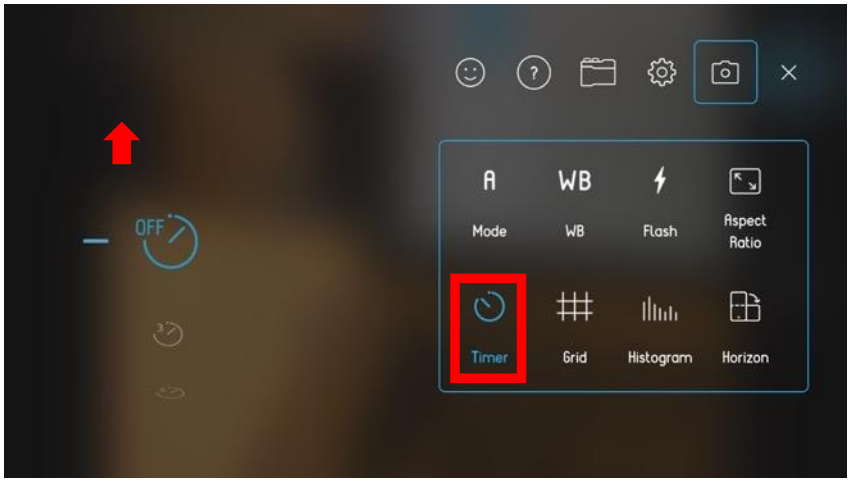
・アスペクト比

撮影範囲のアスペクト比を選択できます。標準の 3×4／ワイドスクリーンの 16×9／正方形の 1×1 が設定できます。



・タイマー

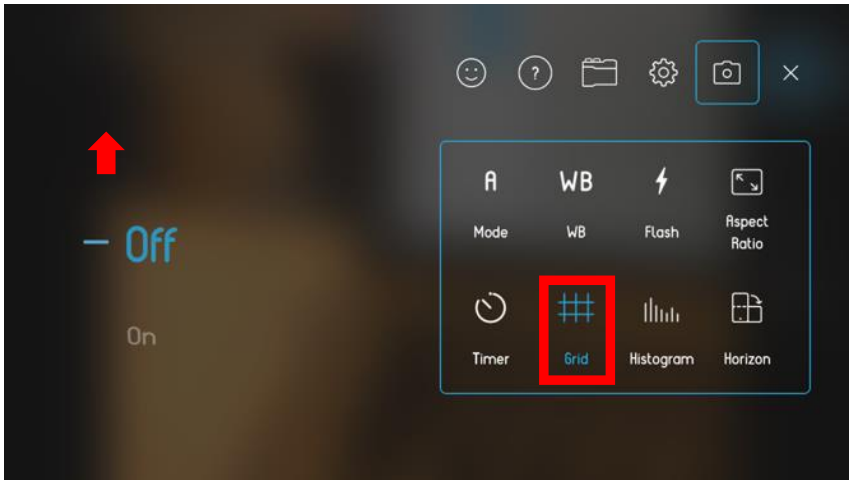
シャッターボタンを押してから撮影するまでの時間を選択できます。初期設定はオフとなります。シャッターボタンを全押しした瞬間からタイマーに応じた時間で撮影をします。3 秒／5 秒／10 秒／15 秒の時間を選択できます。



・グリッド

撮影範囲にグリッドを表示できます。グリッドは撮影範囲を９つのセクションに分割して水平と垂直の直線を表示します。画角やレイアウトを想定しやすくなります。

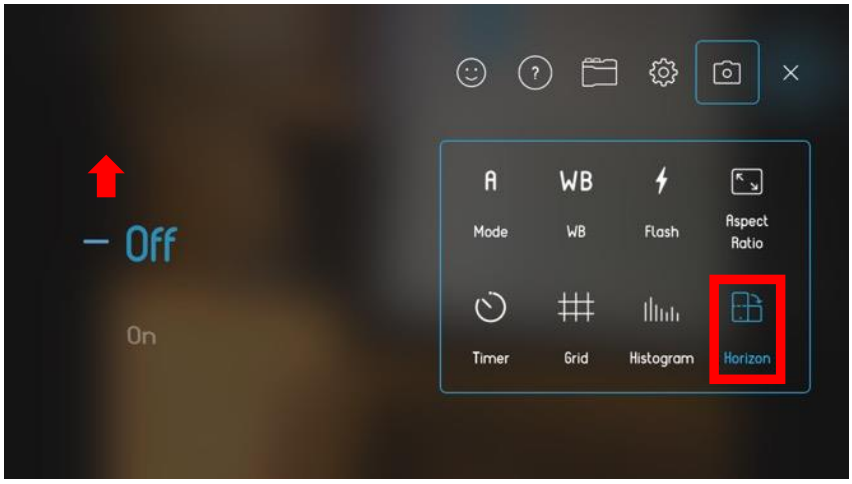
（※一部の撮影モードでは使用できません。）



・水準器

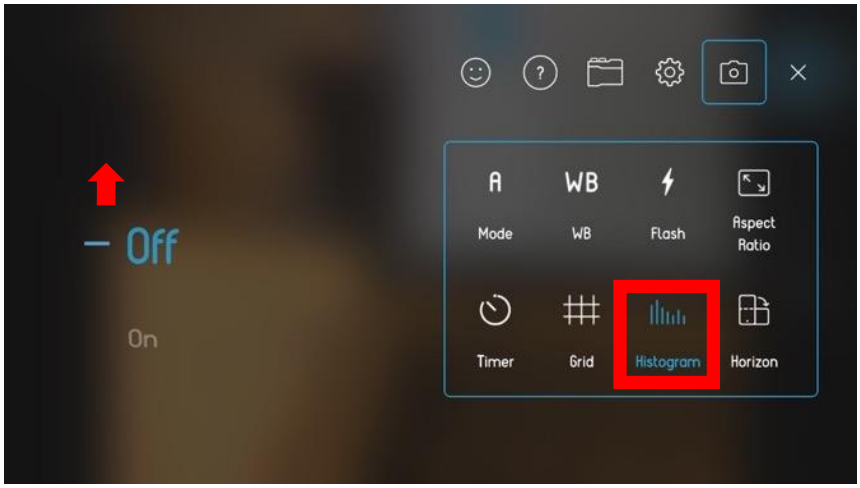
撮影範囲の水準器を表示できます。撮影範囲を水平に保つように、水平角度を数値で表示します。風景写真や建物の撮影に最適です。

（※一部の撮影モードでは使用できません。）



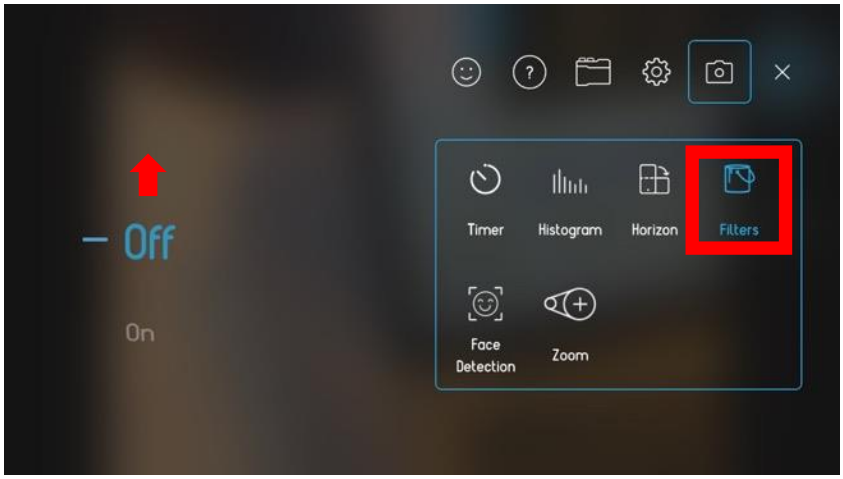
・ヒストグラム

撮影範囲のヒストグラムを表示できます。ヒストグラムは、撮影範囲内のトーンを黒から白へとリアルタイムでグラフィカルに表現するため、カメラマンが露出を判断するのに適しています。理想的な撮影をしたい場合は、ヒストグラムの両端に極端な重心を置かないことが良い写真のコツとなります。



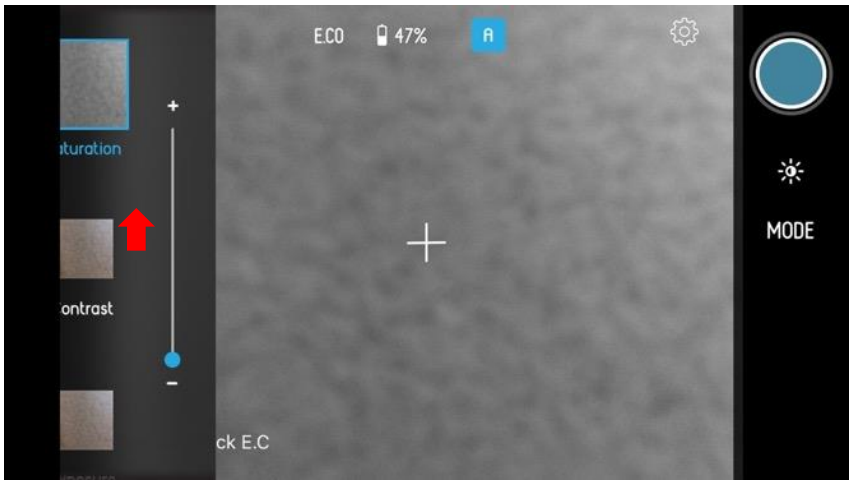
・フィルター

フィルター機能のオン／オフの切り替えができます。



フィルターモードは選択したフィルターが撮影範囲にリアルタイムに表示されます。

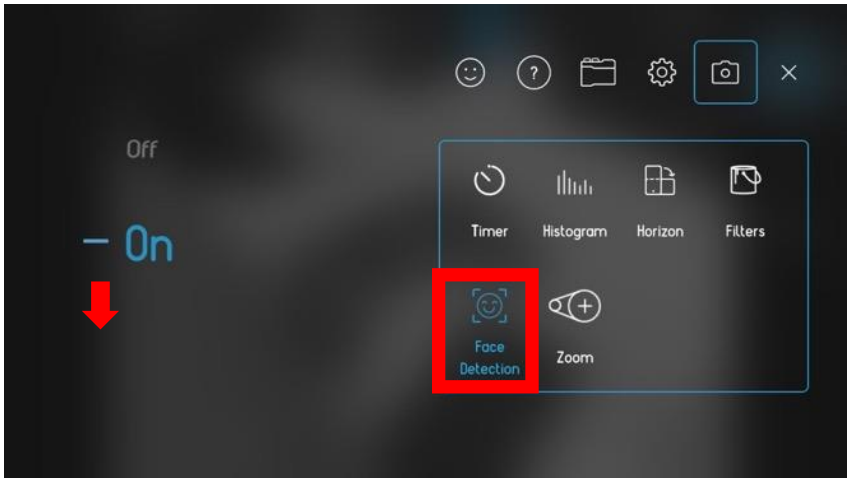
（※一部の撮影モードでは使用できません。）



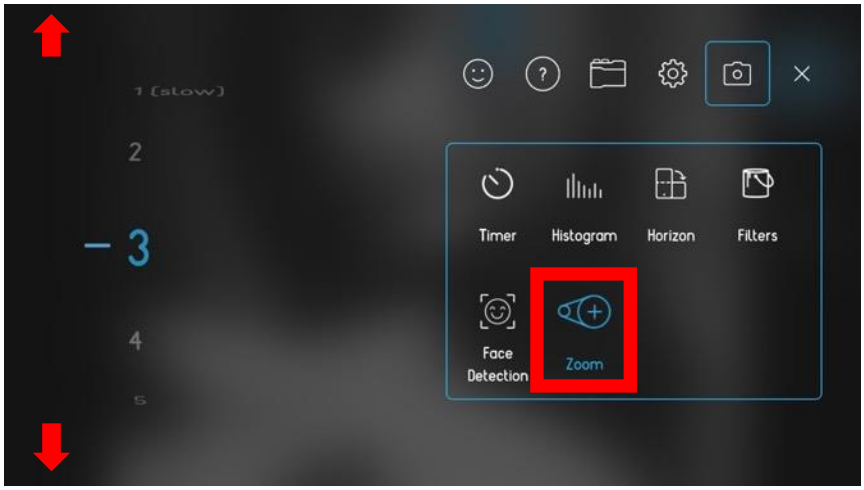
・顔検出

顔認識機能の設定ができます。

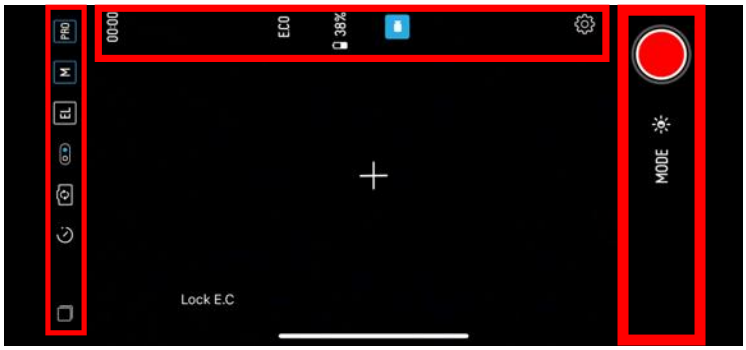
（※一部の撮影モードでは使用できません。）



・ズーム
ズームインやズームアウトの速度を調整します。
（※一部の撮影モードでは使用できません。）



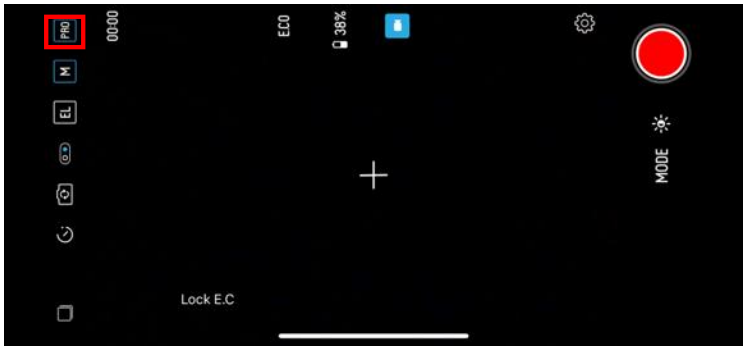
カメラビュー
左右に撮影モードに関する表示と上部に設定を調整できるアイコン表示がされています。

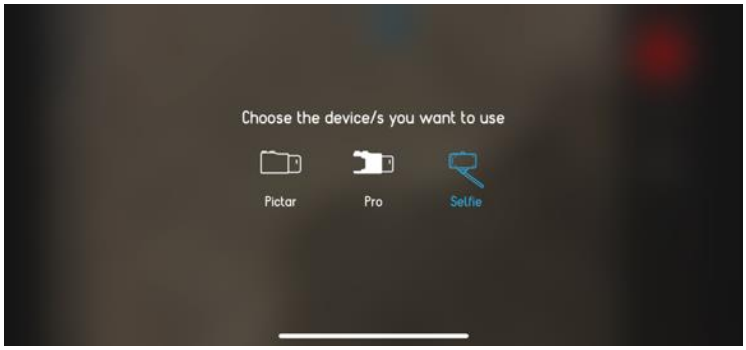


カメラビュー左側表示

・機器

撮影機器を変更できます。PICTAR、PICTAR PRO、Selfie Stick から選べます。





・レンズ

撮影レンズを変更できます。広角、望遠、広角／マクロから選べます。

・外部ライト

外部ライトを使用をする際に設定できます。

・Live フォト

ライブフォトで撮影ができます。

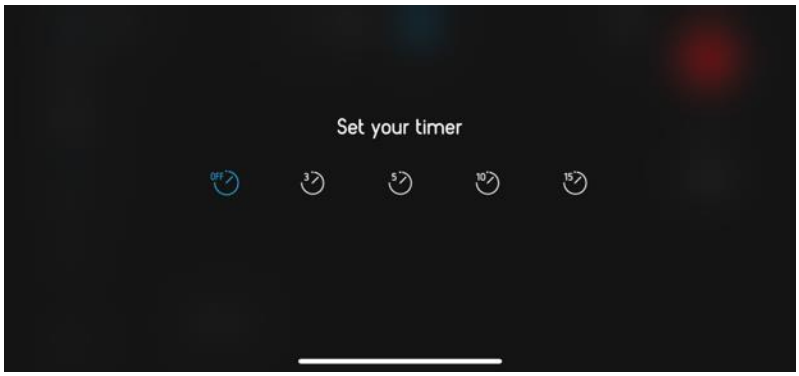
（※機種により撮影できない場合があります。）

・セルフィー

メインカメラとフロントカメラの切り替えができます。

・セルフタイマー

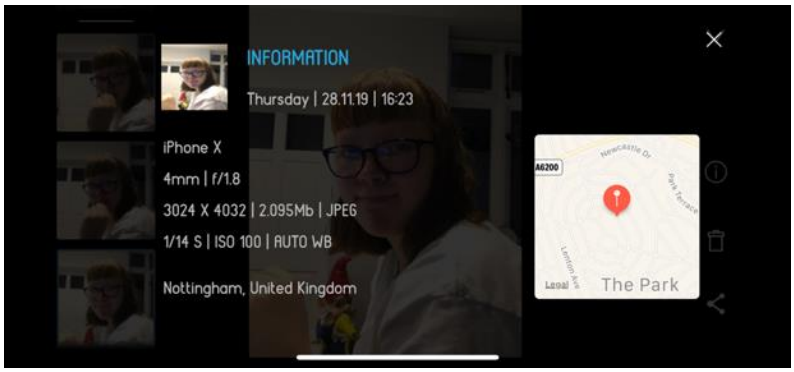
セルフタイマーの設定ができます。



・フォトスタック

カメラロール内の写真が見られます。

「i」アイコンは、写真に関する詳細情報を表示できます。



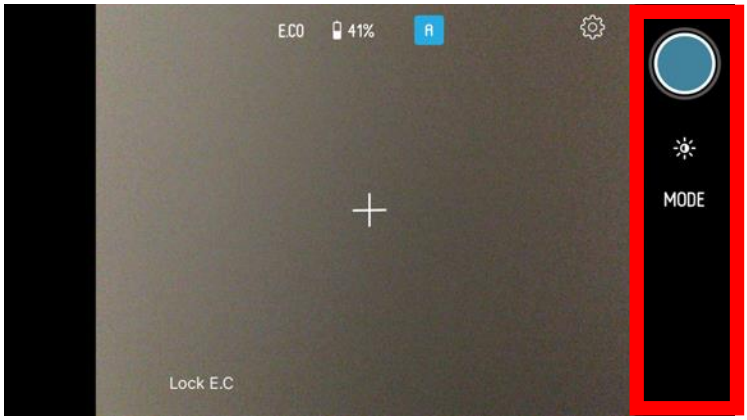
「ゴミ箱」アイコンは、写真を削除します。

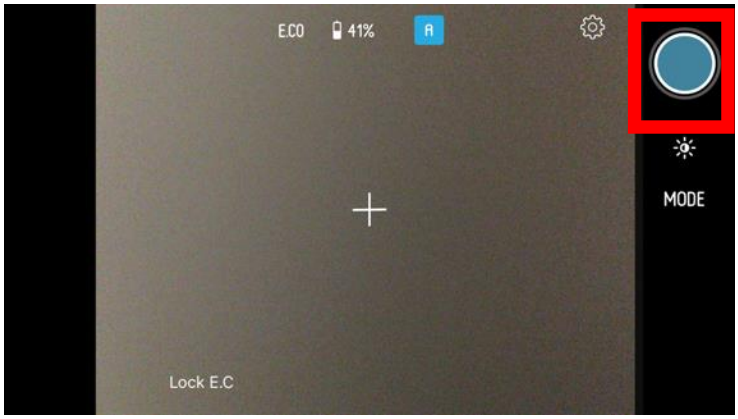
「シェア」アイコンは、写真をメール送信したり、共有したりできます。

カメラビュー右側表示

・シャッターボタン

写真の撮影ができます。





・露出

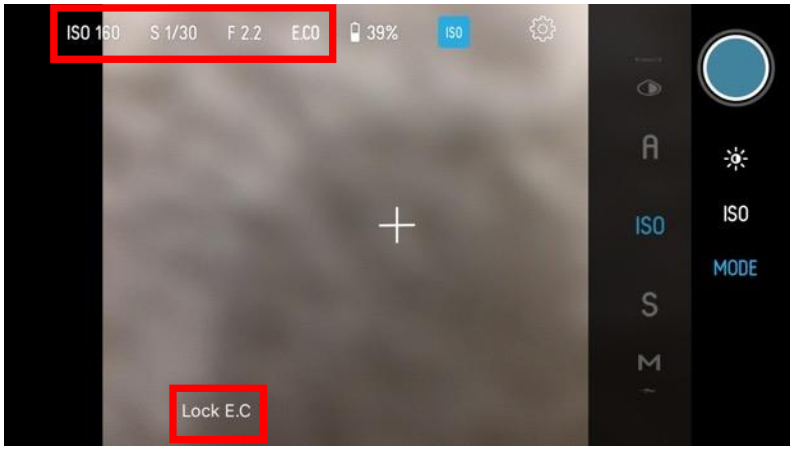
露出を変更できます。撮影環境によって手動で露出調整が行えます。

・モード

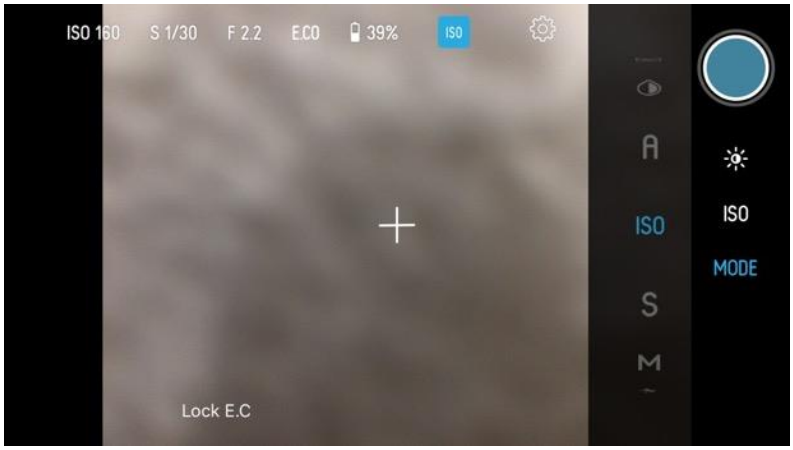
撮影モードの変更ができます。スマートホイールからの操作と同じ機能となります。

カメラビュー上側表示

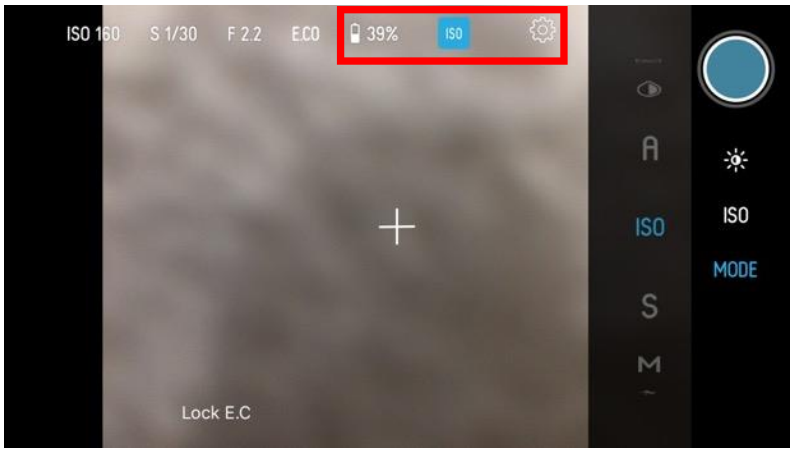
ISO、シャッタースピード、絞り（F 値）などの撮影情報がされています。



露出補正の情報が、-4～+4 の間で表示もされています。



スマートフォンのバッテリー表示、設定しているモード、設定のアイコンも表示されています。



写真撮影について

撮影モードを選択して、シーンに応じて最適な写真が撮影できます。

プロ

● オート

撮影のすべてを自動調節できる初心者に使いやすいインテリジェント自動モード。

● フィルタ

38 種類のフィルタが使用できるモード。

（※スライダーで強度を調整できます。）

● セルフィー

フロントカメラに切り替えて、自撮りに最適なモード。

● ビデオ

グリッド、水平、フォーカスロックの機能を調整して、動画撮影ができるモード。

（※一部のビデオ機能は「Pro」モードでのみ使用できます。）

● マクロ

フォーカスの微調整を行ってマクロの撮影ができるモード。

● スポーツ

より速いシャッタースピードを自動的に設定して撮影ができるモード。

● マニュアル

ISO、シャッタースピード、フォーカスを手動で調整ができるモード。

● ビデオ

グリッド、水平、フォーカスロックの機能を調整して、動画撮影ができるモード。

（※一部のビデオ機能は「Pro」モードでのみ使用できます。）

● ISO 優先

ISO を変更して、感度を好みの感じに撮影ができるモード。

(※機種により設定範囲は異なります。)

ファミリー

● オート

撮影のすべてを自動調節できる初心者に使いやすいインテリジェント自動モード。

● ベビー

子供のクローズアップ撮影や赤ちゃんの写真をよ

り柔らかく、明るく撮影できるモード。
（※スライダーで強度を調整できます。）
● パーティー
混合照明での撮影やコントラストを強調して鮮やかな写真の撮影ができるモード。
（※スライダーで強度を調整できます。）
● ブラック/ホワイト
写真を詳細な鉛筆のような絵に変えて、創造的な白黒のアウトライン撮影ができるモード。
● レトロ
セピアトーンにして、セピア色の昔ながらの外観で撮影ができるモード。
（※スライダーで強度を調整できます。）
● ループ
短い動画を撮影して、短いループビデオクリップ用動画が撮影ができるモード。
● ブーメラン
短い動画を撮影して、再生と逆再生をつなげる短いループビデオクリップ用動画の撮影ができるモード。
● ビデオ
グリッド、水平、フォーカスロックの機能を調整して、動画撮影ができるモード。

（※一部のビデオ機能は「Pro」モードでのみ使用できます。）

トラベラー

● オート

撮影のすべてを自動調節できる初心者に使いやすいインテリジェント自動モード。

● ビーチ

ビーチまたは水辺での最適なトーンの写真を撮影ができるモード。

● スノー

雪のような高輝度エリアで、より自然な白い雪のトーンを表現するために写真を露出オーバー気味にして撮影ができるモード。

（※スライダーで強度を調整できます。）

● 日焼け

肌のトーンをキャプチャして、被写体に日焼けした肌を与えるポートレートの撮影ができるモード。

（※スライダーで強度を調整できます。）

● フード
彩度を高め、より豊かな食べ物のクローズアップショットの撮影ができるモード。
（※スライダーで強度を調整できます。）
● ブラック/ホワイト
写真を詳細な鉛筆のような絵に変えて、創造的な白黒のアウトライン撮影ができるモード。
● レトロ
セピアトーンにして、セピア色の昔ながらの外観で撮影ができるモード。
（※スライダーで強度を調整できます。）
● ループ
短い動画を撮影して、短いループビデオクリップ用動画が撮影ができるモード。
● ブーメラン
短い動画を撮影して、再生と逆再生をつなげる短いループビデオクリップ用動画の撮影ができるモード。
● ランドスケープ
水準器とグリッドを表示して、風景を撮りやすい画面で撮影ができるモード。
● ビデオ
グリッド、水平、フォーカスロックの機能を調整して、動画撮影ができるモード。

（※一部のビデオ機能は「Pro」モードでのみ使用できます。）

SNS

● オート

撮影のすべてを自動調節できる初心者に使いやすいインテリジェント自動モード。

● フード

彩度を高め、より豊かな食べ物のクローズアップショットの撮影ができるモード。

（※スライダーで強度を調整できます。）

● ブラック/ホワイト

写真を詳細な鉛筆のような絵に変えて、創造的な白黒のアウトライン撮影ができるモード。

● レトロ

セピアトーンにして、セピア色の昔ながらの外観で撮影ができるモード。

（※スライダーで強度を調整できます。）

● ループ
短い動画を撮影して、短いループビデオクリップ用動画が撮影ができるモード。
● ブーメラン
短い動画を撮影して、再生と逆再生をつなげる短いループビデオクリップ用動画の撮影ができるモード。
● ビデオ
グリッド、水平、フォーカスロックの機能を調整して、動画撮影ができるモード。
（※一部のビデオ機能は「Pro」モードでのみ使用できます。）

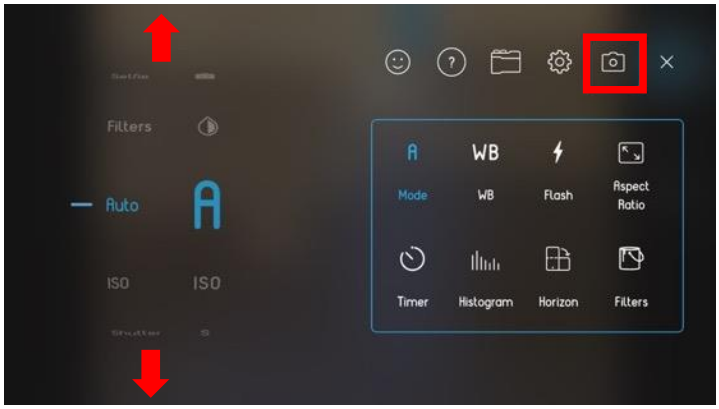
モードの説明

1. オートモード

オートモードは、カメラの設定のほとんどを自動的に調整してくれるモードです。詳細な設定などを気にせずに写真を撮影したい方におすすめです。

基本操作

オートモードは、被写体のアングルやフォーカスを調整して、シャッターボタンを全押しすると、写真が撮影できます。撮影した写真は、カメラロールに保存されます。



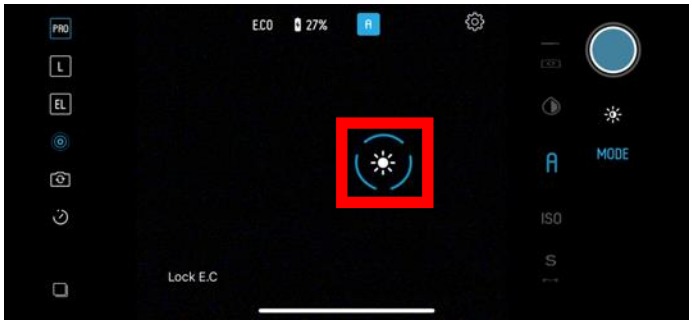
ズーム機能

ズームリングを回すと、ズームインやズームアウトできますので、最適な構図で楽しめます。ズーム機能は、標準設定の×1.0 から、10 倍に拡大さ

れた×10.0 までズームできます。ズームの状態を示すアイコンは、画面中央に表示します。

シャッターボタンの半押し

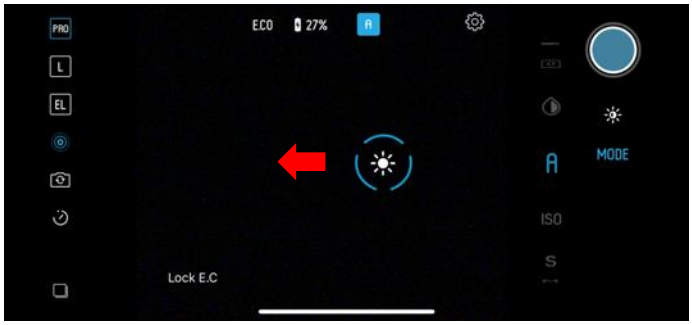
シャッターボタンを半押しすると、画面中央に露出アイコンが表示します。この位置を基準として、フォーカスを当てて露出補正を行います。



露出補正が行われたらシャッターボタンを全押しして撮影できます。露出アイコンが設定されていない場合は、カメラは撮影範囲全体から平均的な明るさの撮影を行います。

フォーカスと露出ポイントの変更

撮影範囲の別の部分にフォーカスを当てるようにしたい場合は、画面の露出アイコンをタップして移動ができます。

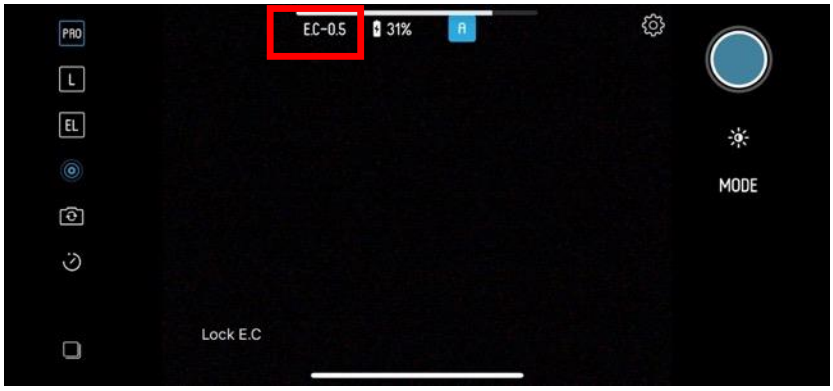


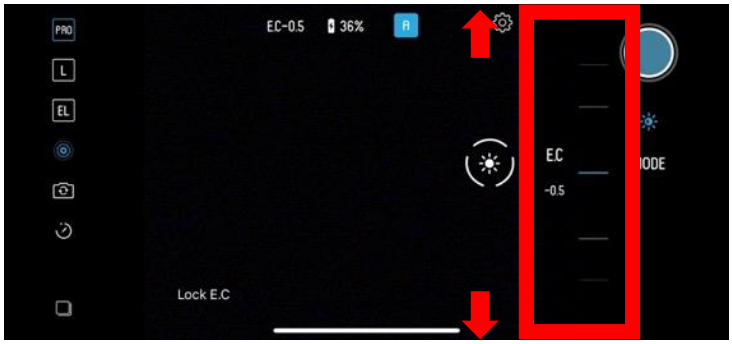
その後、シャッターボタンを押して撮影してください。再度フォーカスをあわせるには、露出アイコンを撮影範囲の別の部分にドラッグします。フォーカスをやり直すには、シャッターボタンを放してもう一度半押しをします。 シャッターボタンを半押しするかどうかにかかわらず、スマートフォン画面の触れることで、フォーカスと露出アイコンを表示できます。

露出補正

カメラのフォーカスと露出ポイントを移動するだけでなく、適切な露出を設定するときの写真の明るさを表示します。

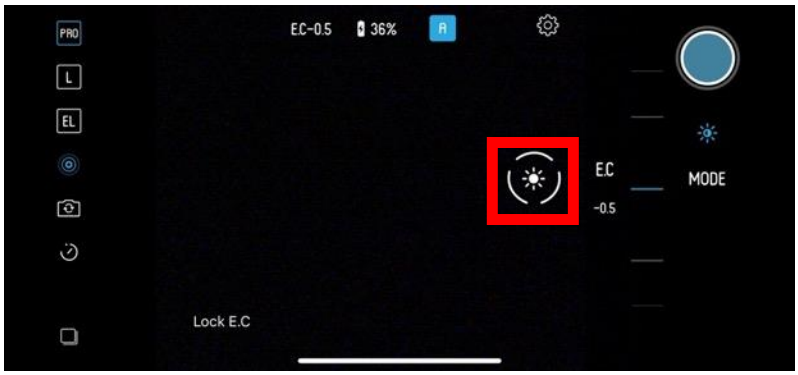
写真が明るすぎたり暗すぎたりするときは、露出補正ホイールを回して最適の状態に調整できます。最適の状態に調整してシャッターボタンを全押しして撮影してください。

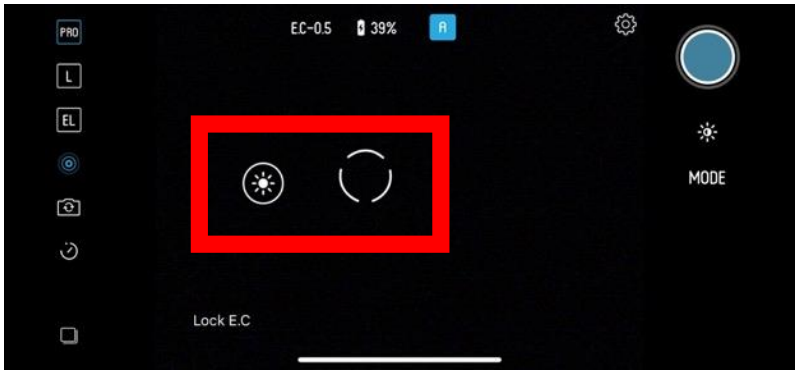




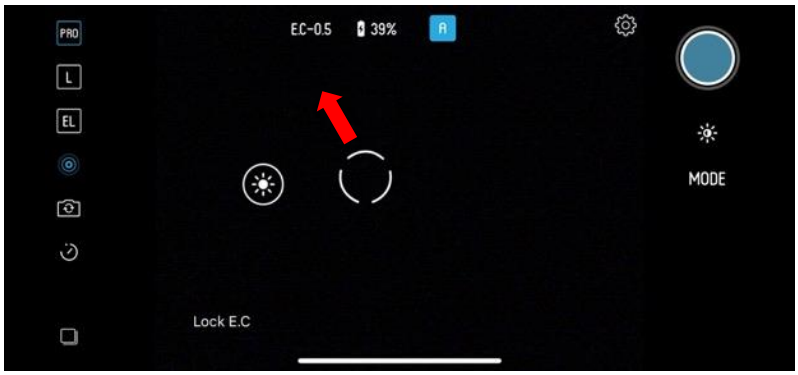
オートモードの詳細な調整方法

画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2 つのアイコンに分かれます。

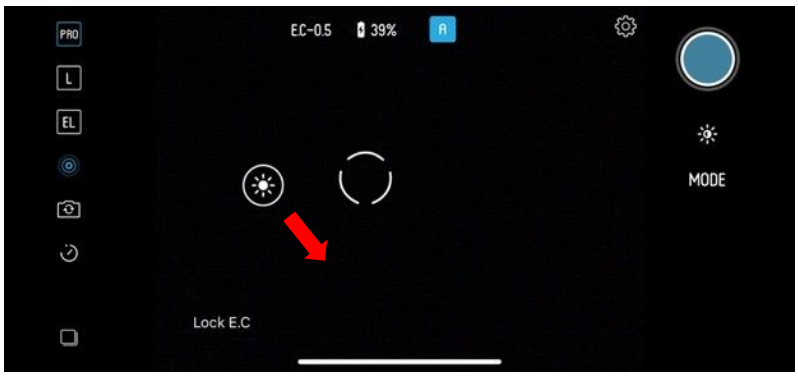




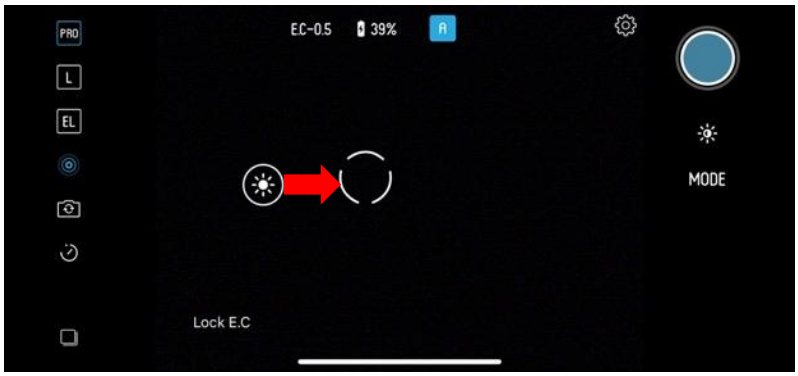
円アイコンは、フォーカスを合わせている場所で、太陽アイコンは露出を設定している場所を示しています。 円アイコンを移動した位置にフォーカスが移動します。



撮影範囲の最適な位置に太陽アイコンをドラッグすることで露出ポイントの位置に最適な明るさを調整します。



シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。



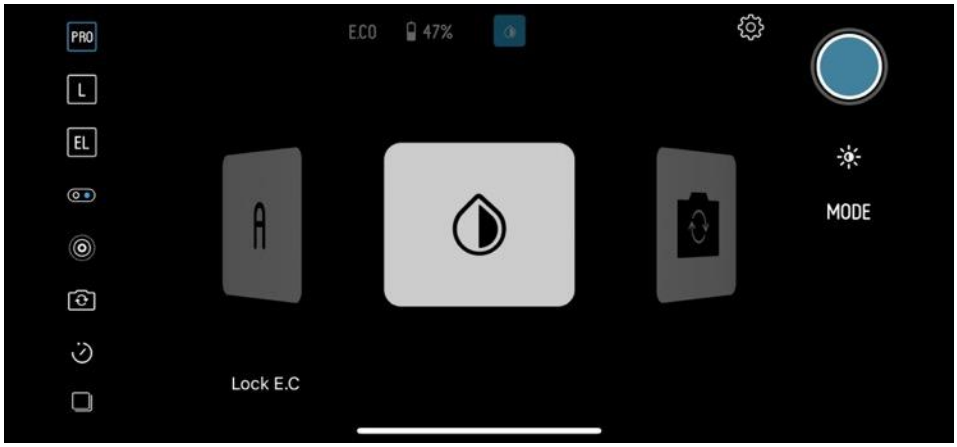
フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせることでアイコンを１つに戻せます。露出補正ダイヤルホイールを回して写真の明るさの調整もできます。

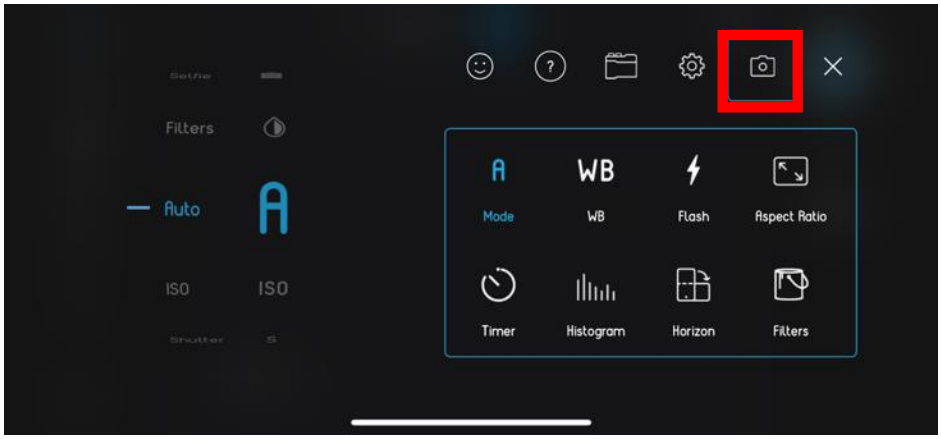
オートモードでの自撮り撮影

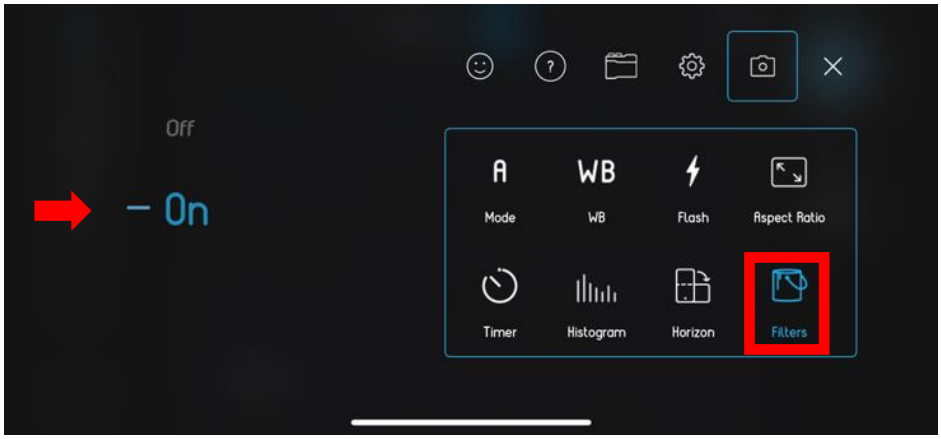
PICTAR のズームレバー（ズームホイール）を押し込むと、スマートフォンの前面と背面のカメラが切り替わります。顔検出によるフォーカス調整以外のオートモードの機能が動作します。

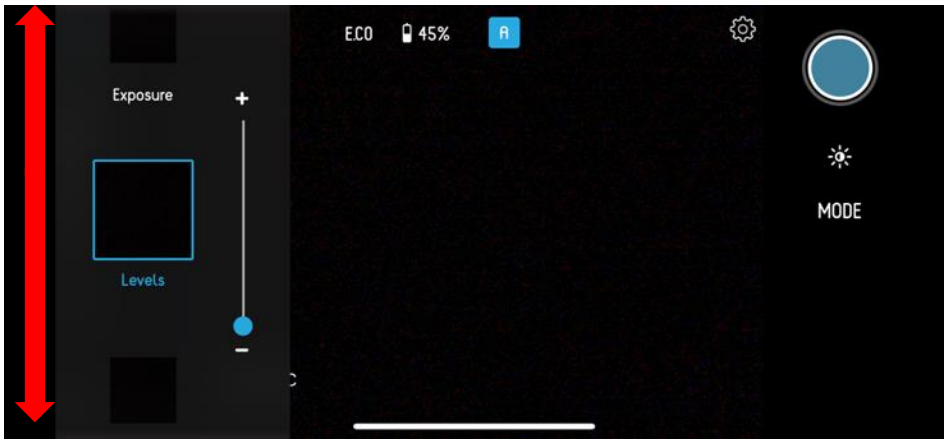
2. フィルターモード

フィルターモードは、ビルトインのクリエイティブやテクニカルフィルタを使用して、写真の表現をアレンジするのに適したモードです。

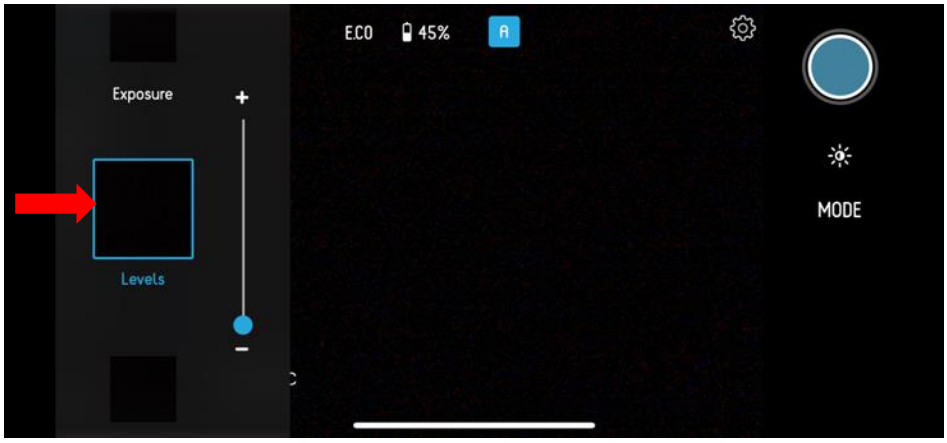




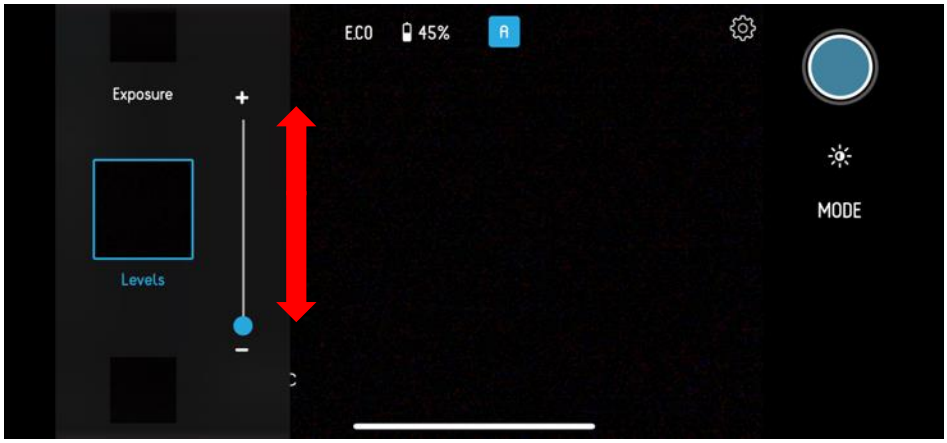




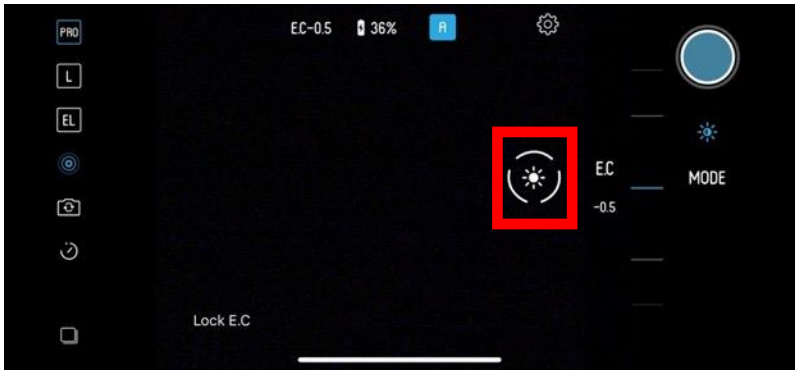
写真がどのように撮影されるかを、リアルタイムで確認できるのでわかりやすく撮影結果が見られます。
フィルターのリストがスマートフォン画面の左側に表示され、上下にスクロールをして選択できます。スマートフォン画面上でアイコンをスワイプするか、露出補正ホイールを回すことでも変更できます。



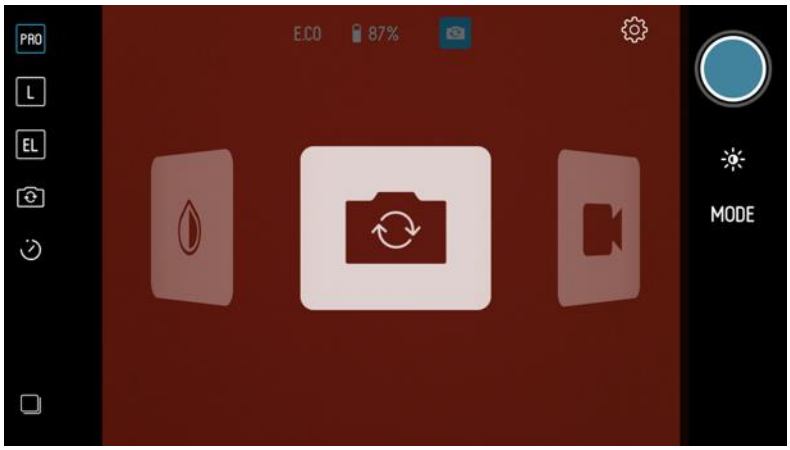
フィルターは、スマートフォン画面の左側のスライダーから調整ができます。
フィルターモードでは、露出補正、シャッタースピード、ISO などは自動で調整されます。



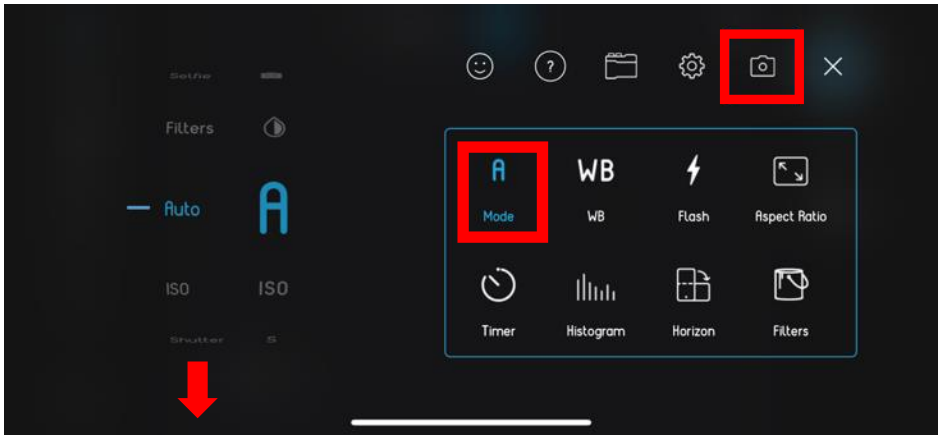
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます

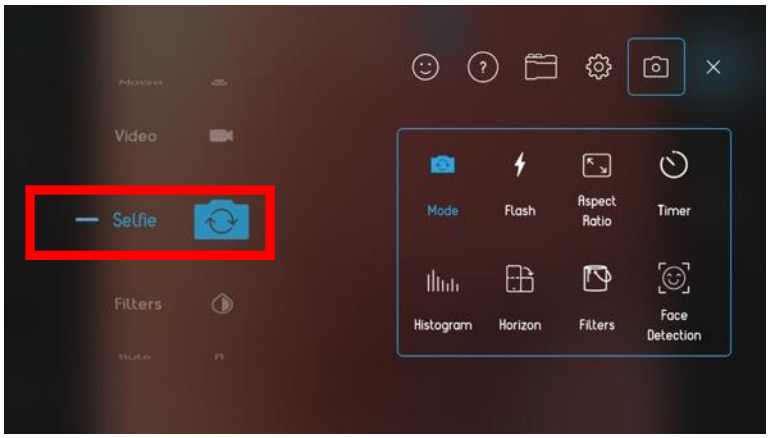


3. セルフィモード

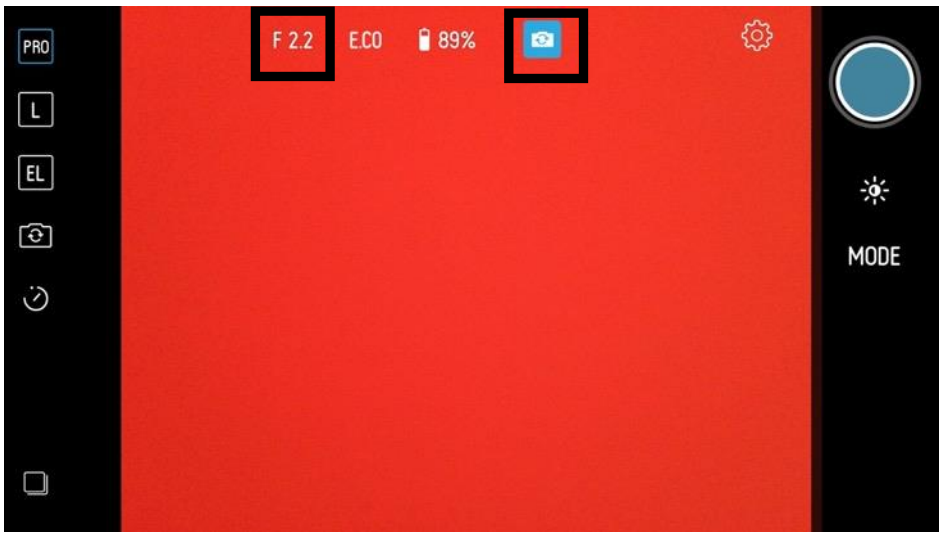


セルフィモードは、フロントカメラから自撮りをするときに適したモードです。

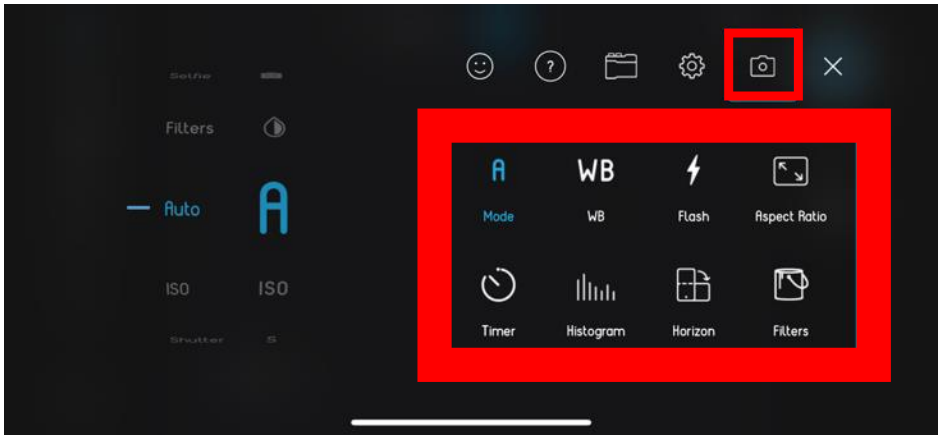




スマートフォン画面上部に、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。

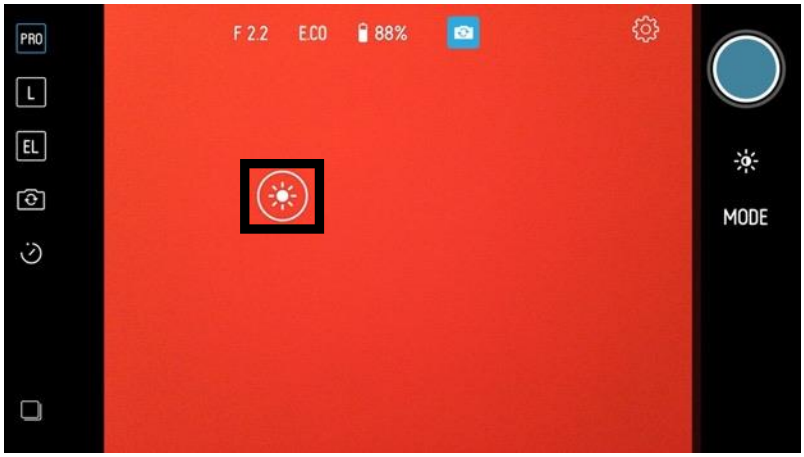


セルフィモードは、顔検出機能により被写体の顔にフォーカスを合わせてくれます。

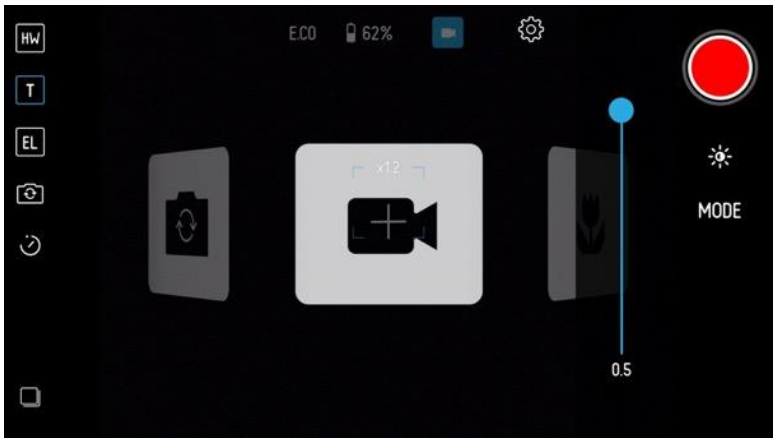


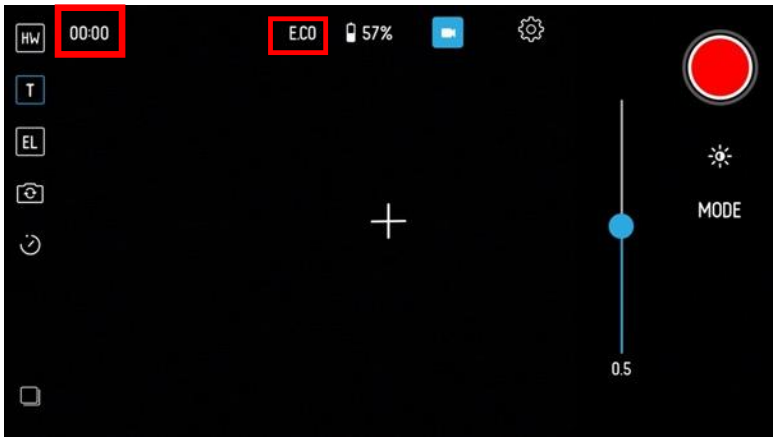
フィルターモードでは、シャッタースピード、ISO などは自動で調整されます。
露出は、露出補正ホイールより調整ができます。

画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。露出とフォーカスポイントを 2 つに分けることはできません。



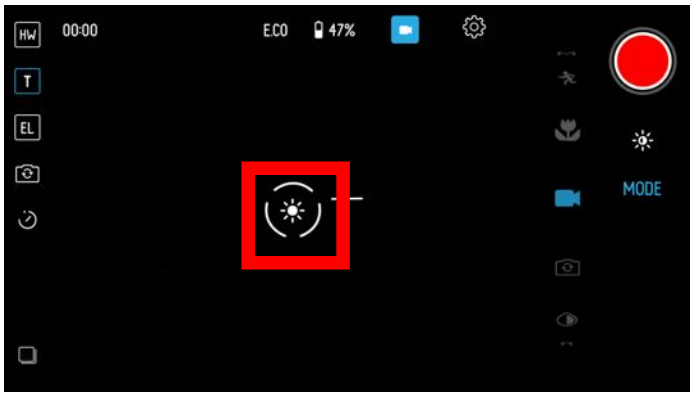
4. ビデオモード





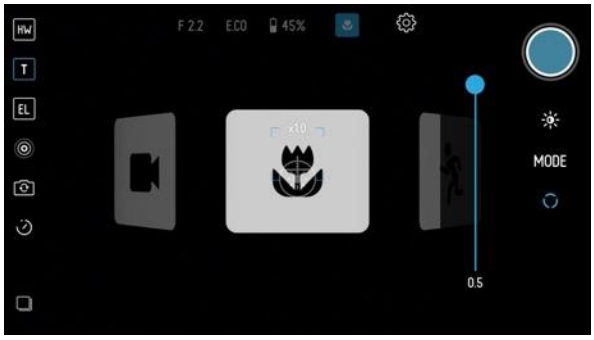
ビデオモードは、スマートフォンの画面上部に録画した経過時間が表示されます。
シャッターボタンを押して録画を開始すると、タイマーの横に赤色のアイコンが表示され、録画中となります。シャッターボタンをもう一度押すと録画を終了します。

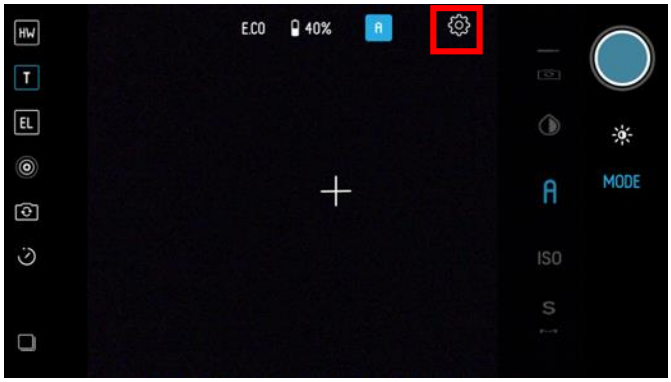
ビデオモードでは、シャッタースピード、ISO などは自動で調整されます。
露出は、露出補正ホイールより調整ができます。

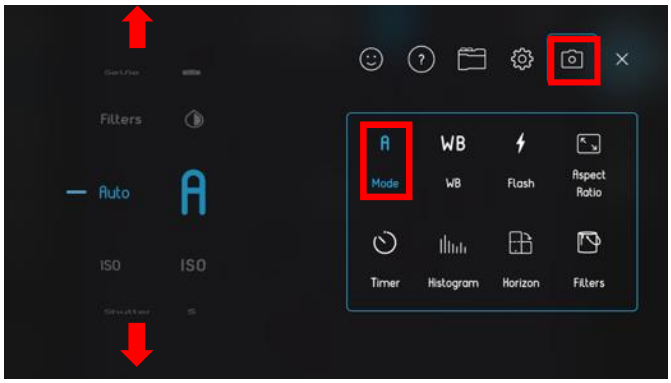


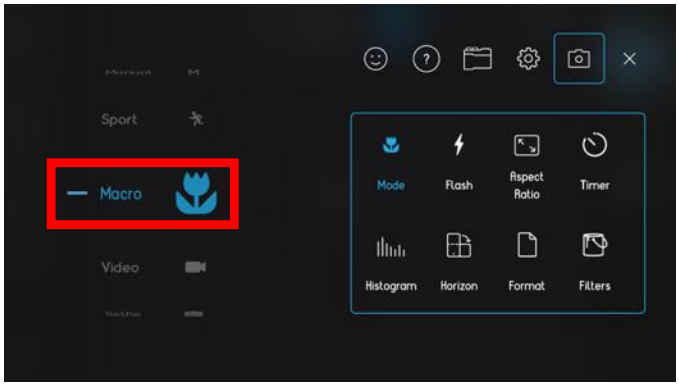
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

5. マクロモード

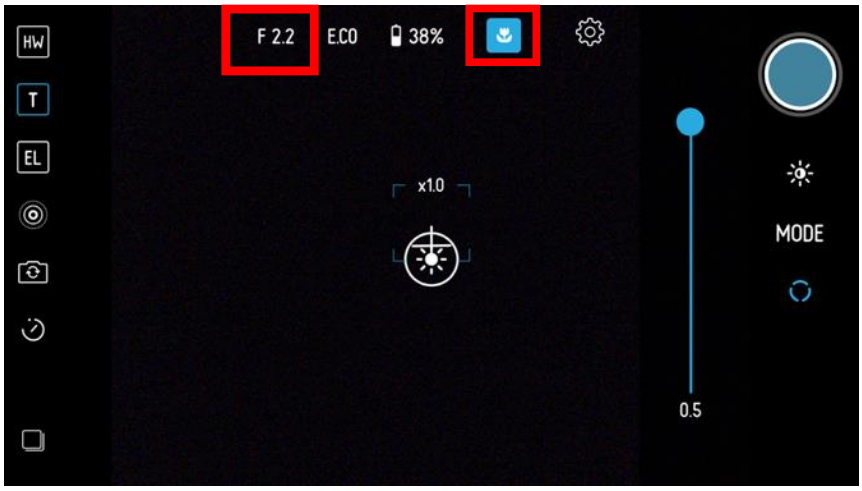






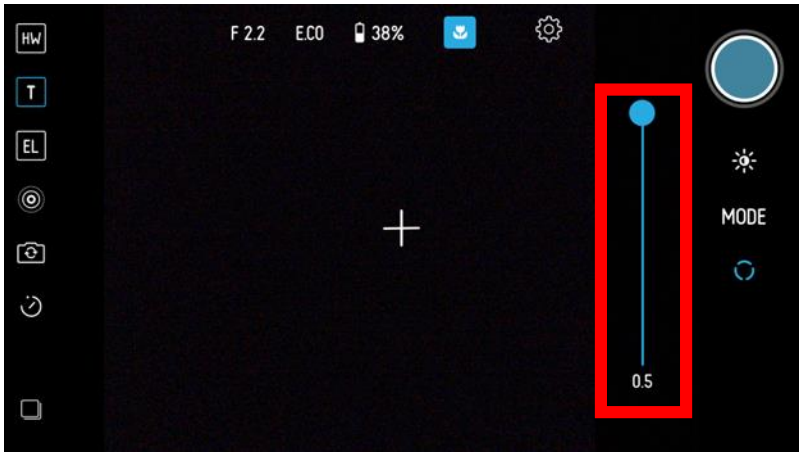


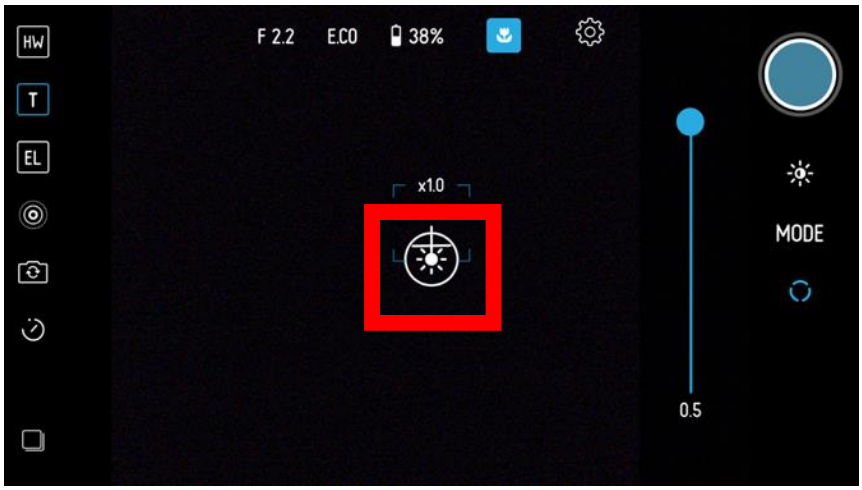
マクロモードは、花のような小さな被写体のクロー ズアップ写真を撮影するのに適したモードです。



スマートフォン画面上部に、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。
マクロモードでは、シャッタースピード、ISO などは自動で調整されます。
露出は、露出補正ホイールより調整ができます。

スマートフォン画面右側のスライダーで焦点距離を調整できますので、被写体に近寄った写真が撮影できます。
スライダーは上から下へ焦点距離が近くなります。シャープにしたい撮影範囲のピントが合う位置へフォーカスポイントをスライドさせます。

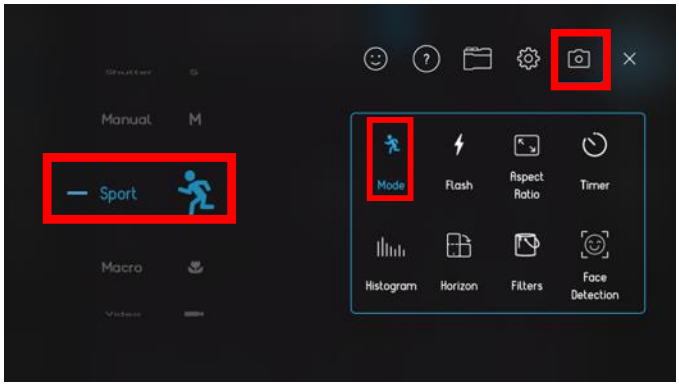




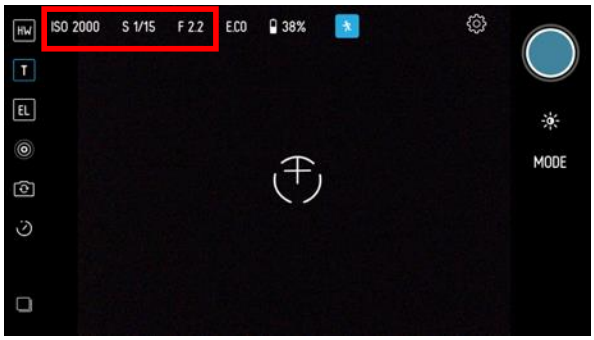
マクロモードではオートフォーカスが使用できません。

画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。露出とフォーカスポイントを２つに分けることはできません。

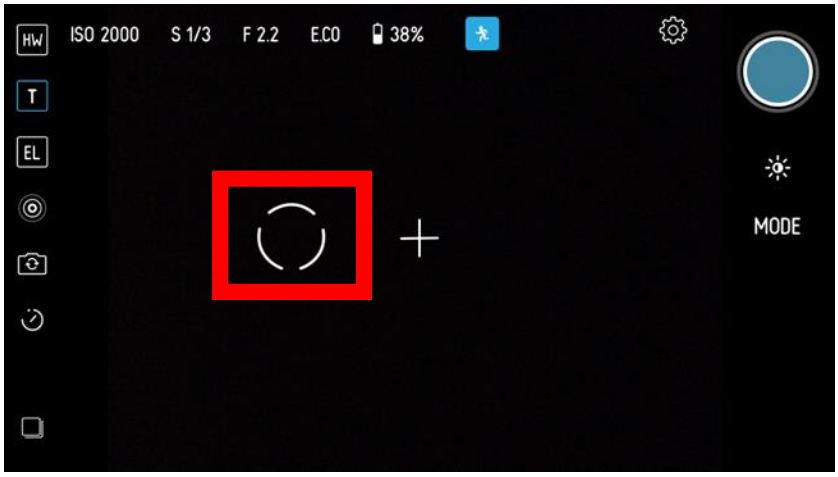
6. スポーツモード



スポーツモードは、被写体がスポーツをしていたり、走り回るペットや動いている人のように、動きのある被写体を撮影するモードです。

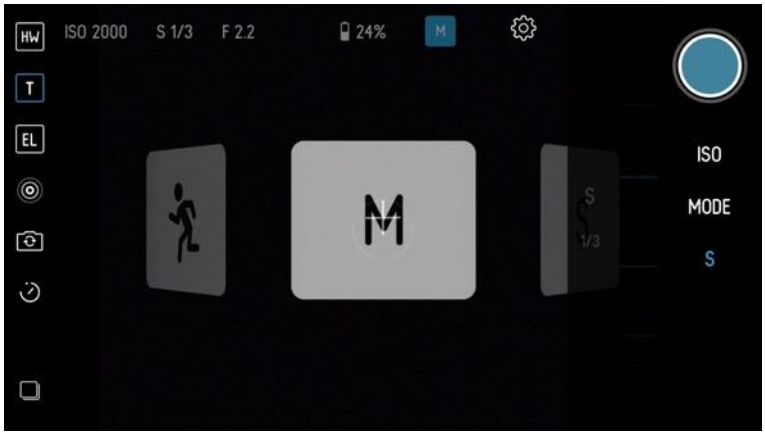


スマートフォン画面上部に、ISO、シャッタースピード、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。
スポーツモードは、自動的に撮影範囲の明るさを測定し、高いシャッタースピードを設定して被写体を撮影します。
撮影範囲の光量より ISO を自動的に調整します。



露出は、露出補正ホイールより調整ができます。
露出補正するとシャッタースピードと ISO も自動的に調整されます。
画面をタップすると、フォーカスポイントが表示します。露出ポイントは表示されません。

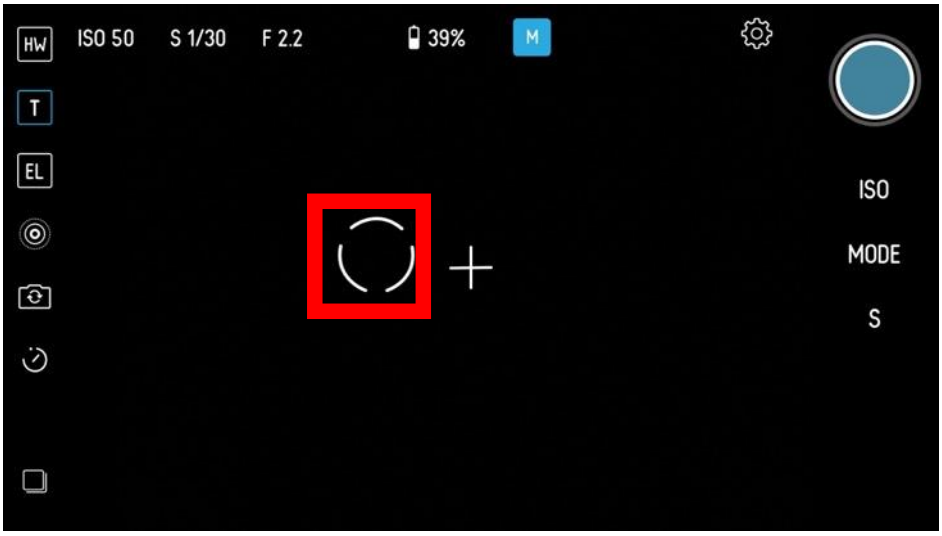
7. マニュアルモード



マニュアルモードは、ISO の調整やシャッタースピード、フォーカスなど、さまざまな設定の調整に適した上級者向けのモードです。

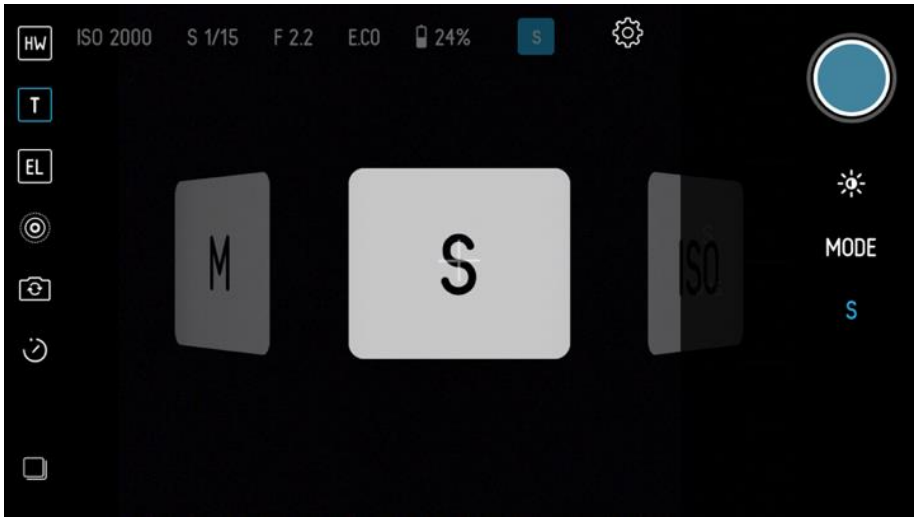
スマートフォン画面上部に、ISO、シャッタースピード、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。
マニュアルモードは、スマートフォン画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッタースピードを調整できます。1/8000 秒の非常に高速なシャッタースピードに設定をすると被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。
1/2 秒の低いシャッタースピードから一般的な撮影まで様々な効果を表現できます。
花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッタースピードでは、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。
PICTAR 本体底部には 1/4 インチ三脚マウントが付いています。
ISO2000 などの非常に高い ISO 値に設定すると、カメラが光に敏感になり夜間や暗室での撮影に最適です。ただし、ISO 値を高くすると画質に粒子感が生まれ写真が劣化します。ISO20 までの ISO 設定では、カメラの光に対する敏感さが軽減しますので、天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したりする場合など、最高の画質を求める場合に最適です。

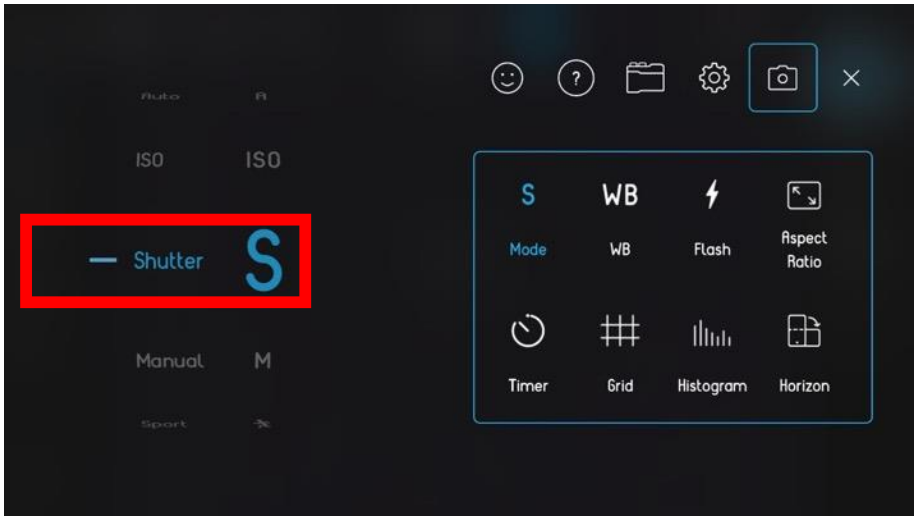
ISO の低い設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッタースピードが遅くなり、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。



マニュアルモードは、自動的に撮影範囲の明るさを測定せず、撮影範囲の光レベルからISOまたはシャッター速度も調整しませんので、多くの設定を調整することで、最適な写真が撮影できるモードです。
画面をタップしても、フォーカスポイントが表示します。露出ポイントは表示されません。

8. シャッタースピード優先モード

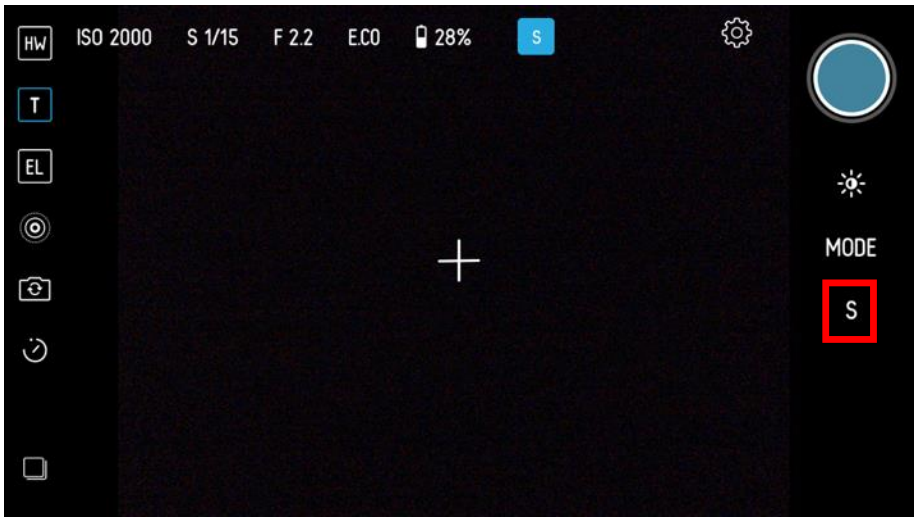


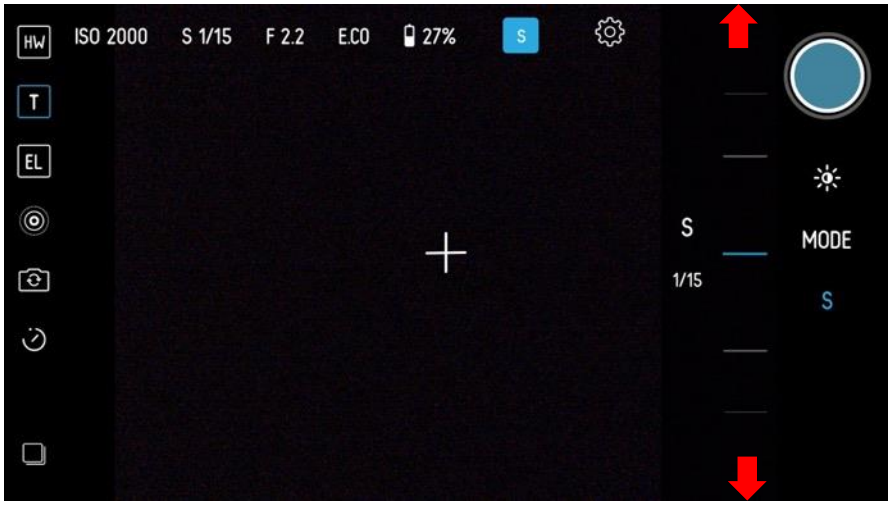


シャッタースピード優先モードは、シャッタースピード速度を変更して、動きの早い被写体や、動きの印象を残すために残像を残すような撮影に適したモードです。

スマートフォン画面上部に、ISO、シャッタースピード、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。

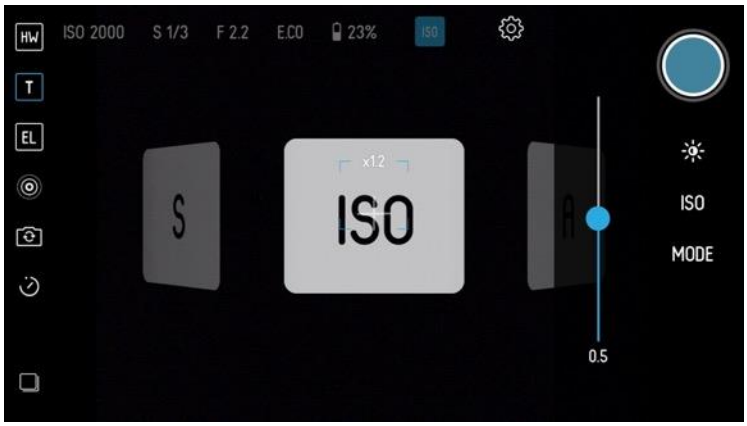
シャッタースピード優先モードは、自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮して、ISO を自動的に調整します。
画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッタースピードを設定します。1/8000 秒の非常に高速なシャッタースピードに設定をすると、被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。1/2 秒の低速なシャッタースピードから一般的な撮影まで様々な効果を表現する設定ができます。
花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッタースピードでは、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。
PICTAR 本体底部には 1/4 インチ三脚マウントが付いています。

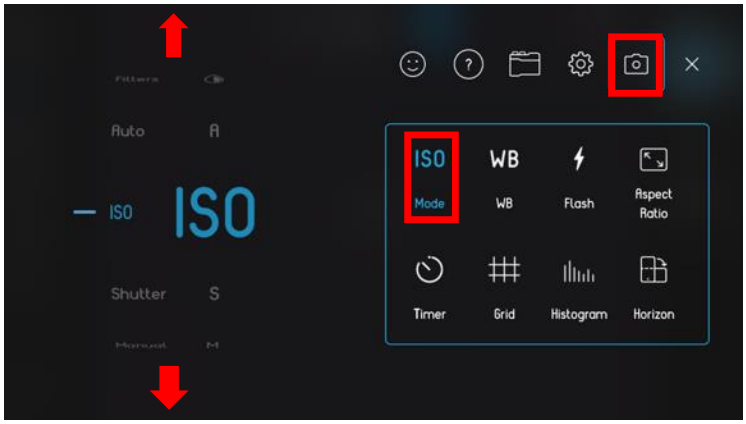




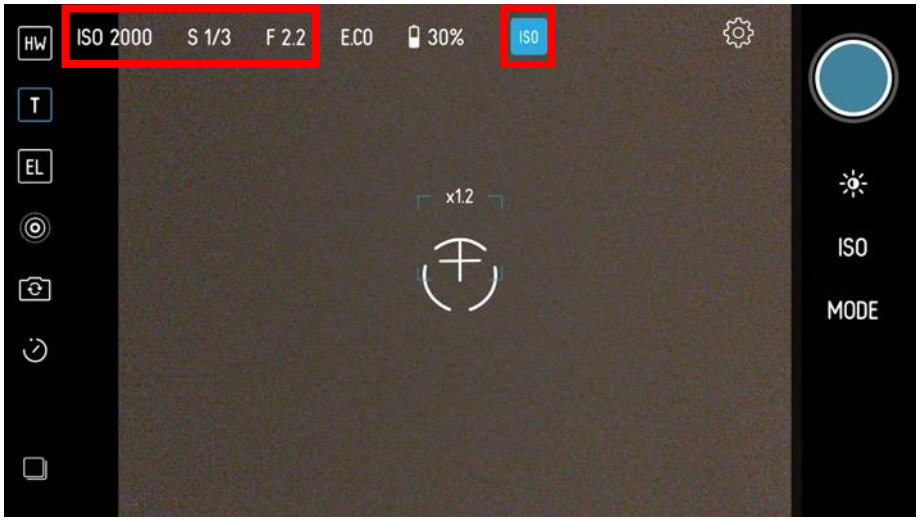
露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。スマートフォン画面の上部に表示されている ISO は自動調整されます。
画面をタップすると、フォーカスポイントが表示します。露出ポイントは表示されません。

9. ISO 優先モード



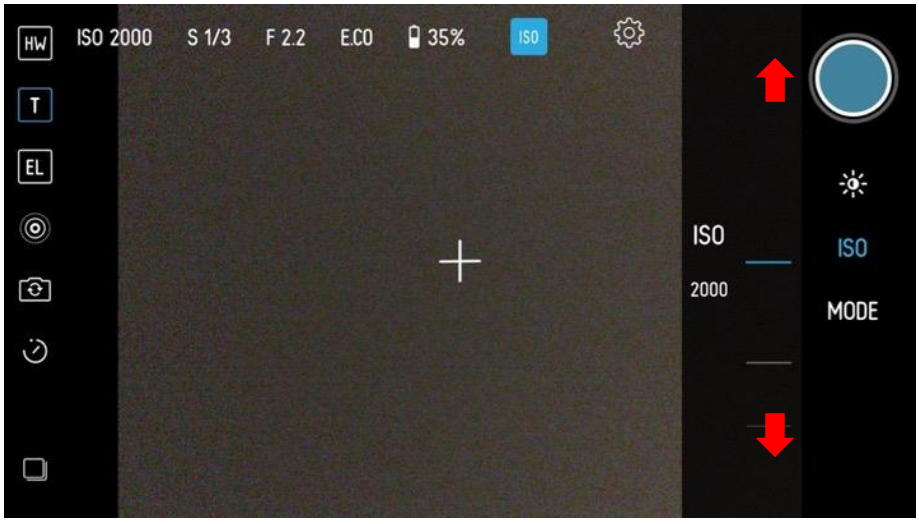


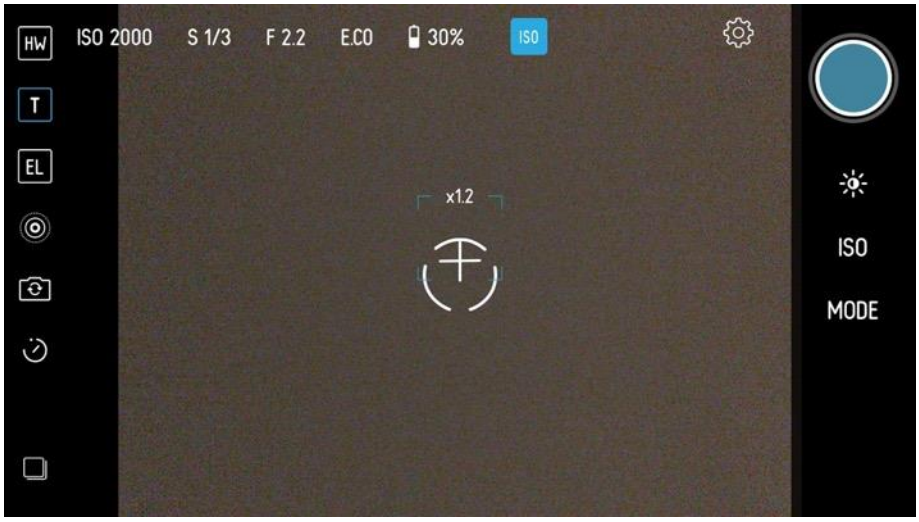
ISO 優先モードは、カメラの光を敏感さから画質のきめ細かさの調整に適したモードです。



スマートフォン画面上部に、ISO、シャッタースピード、絞り（F 値）が表示されます。F 値は固定値となり変更はできません。
ISO 優先モードは、スマートフォン画面のバーチャルホイールを使用して ISO 値を設定します。
ISO2000 の非常に高い ISO 値に設定すると、カメラが光に敏感になり、夜間や暗室での撮影に最適

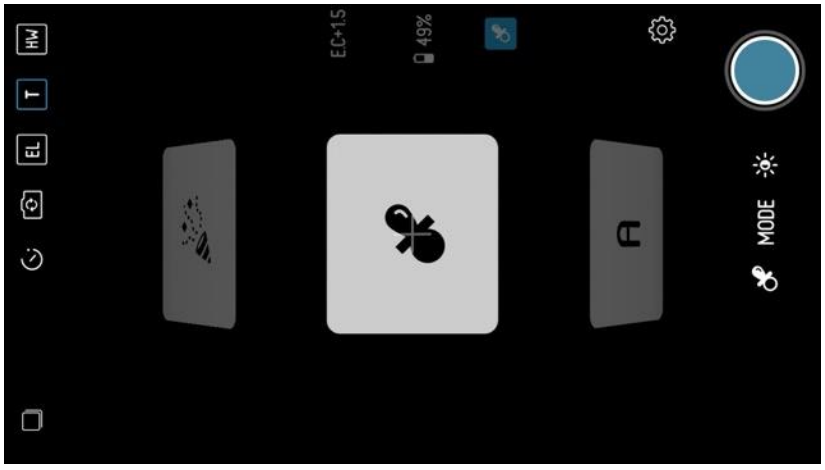
です。ただし、ISO 値を高くすると画像が粒子状となり、画質が劣化します。
ISO20 までの 低い ISO 設定は、カメラの光に対する敏感さが軽減するので、天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したりする場合など、高画質が必要なときの撮影に最適です。
ISO の低い設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッタースピードが遅くなり、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。
ISO 優先モードは、自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルからシャッター速度を自動調整します。

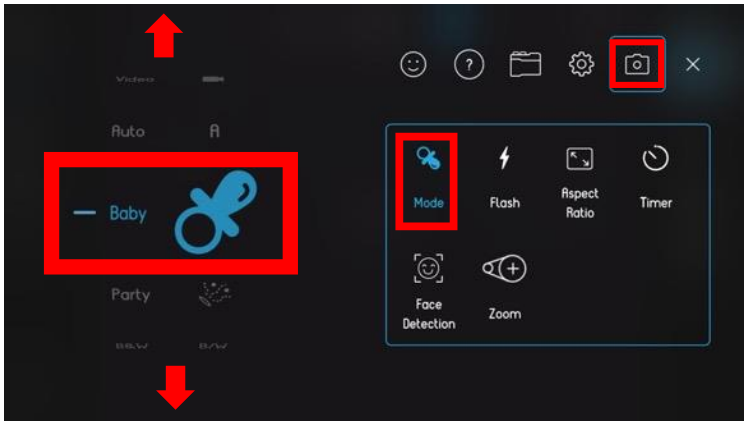




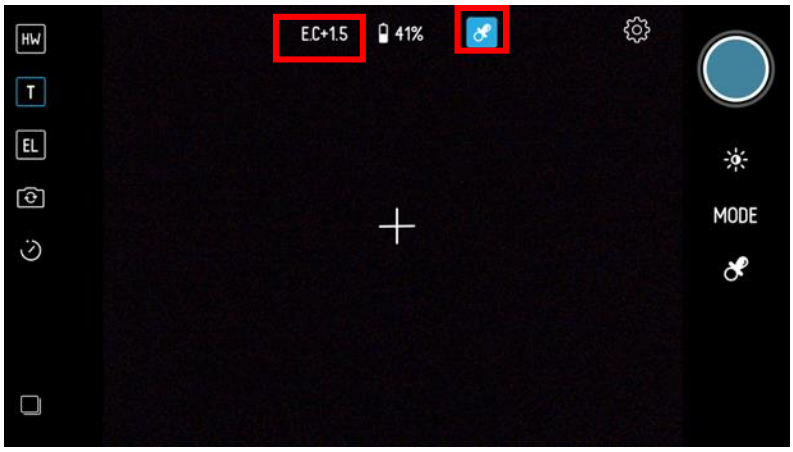
ISO と露出を調整して、最適な写真が撮影できるモードです。
画面をタップすると、フォーカスポイントが表示します。露出ポイントは表示されません。

10. ベビーモード





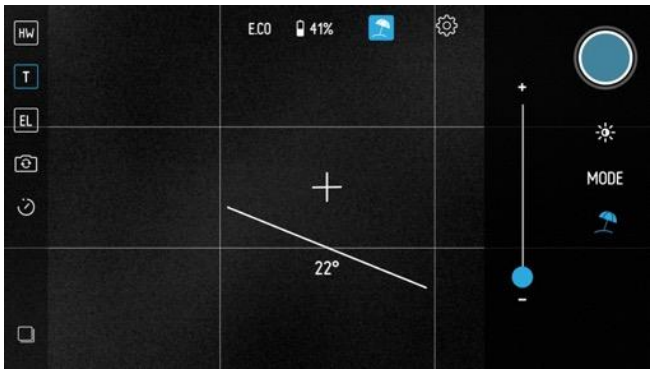
ベビーモードは、子供や赤ちゃん撮影に適した画質として、ぼかし効果のある写真の調整に適したモードです。

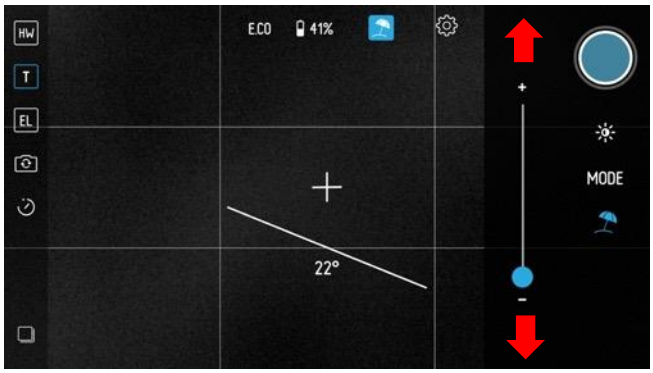


スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

11. ビーチモード

ビーチモードは、海辺のシーンや水平線の見える場所での撮影に適したモードです。

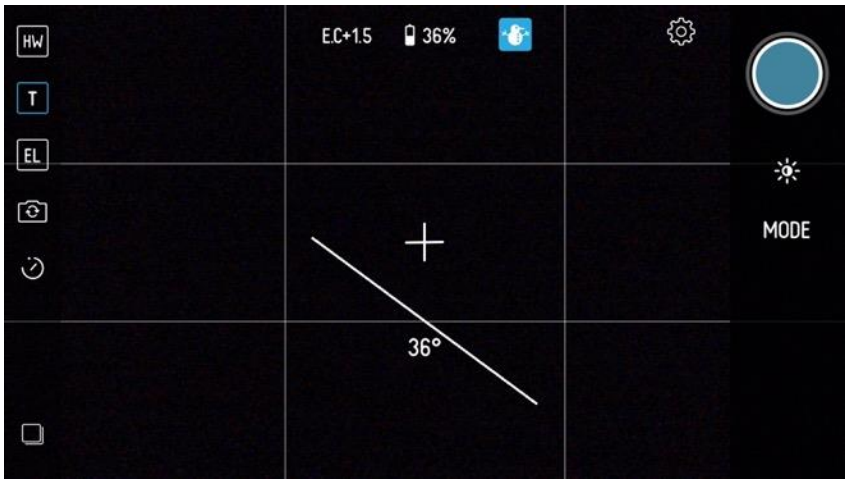




スマートフォン画面上部に、露出が表示し、グリッド表示と水準器が表示されます。
ビーチモードは、彩度を調整して鮮やかさの調整が必要な撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

12. スノーモード

スノーモードは、明度の高い雪景色の撮影に適したモードです。



スマートフォン画面上部に、露出が表示し、グリッド表示と水準器が表示されます。
スノーモードは、色温度を調整して、環境光によって変化してしまう色合いの調整が必要な撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

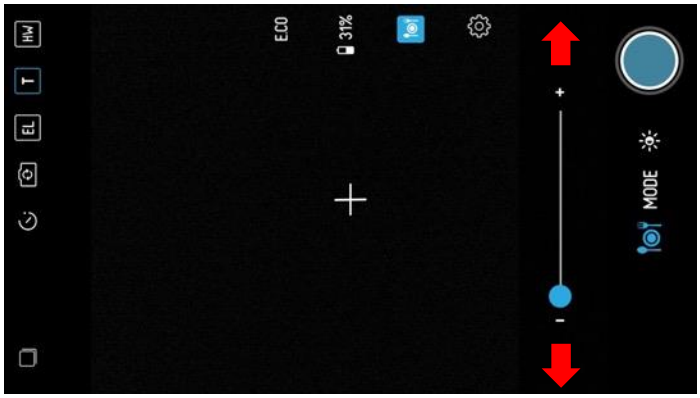
13. 日焼けモード

日焼けモードは、日焼けしたような効果を持つ撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示し、グリッド表示と水準器が表示されます。

日焼けモードは、色温度を調整して、赤みを帯びた被写体に対して色合いの調整が必要な撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

14. フードモード

フードモードは、食べ物のクローズアップ撮影に適したモードです。



スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
フードモードは、彩度を調整してシズル感のある表現の調整が必要な撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

15. パーティーモード

パーティーモードは、暗所でのパーティ会場での撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
パーティーモードは、彩度を調整してさまざまな色を美しく表現する撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

16. ブラック／ホワイトモード

ブラック／ホワイトモードは、ハイコントラストの白と黒で表現されたアウトラインを表現した撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
ブラック／ホワイトモードは、ホワイトとブラックのしきい値によって、輪郭線を抽出する撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

17. レトロモード

レトロモードは、芸術的で雰囲気のあるセピア調の色彩での撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
レトロモードは、彩度を調整してノスタルジックなイメージでの撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。

18. L（ループ）

ループは、繰り返しの動画撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
ループは、3 秒間の動画の最初と最後をフェードインフェードアウトでつなぎ合わせた動画撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。
スマートフォン画面での撮影には、L（ループ）アイコンを長押しする必要があります。

19. B（ブーメラン）
ブーメランは、再生と逆再生の動画撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示されます。
ブーメランは、数秒間の動画の再生と逆再生をつなぎ合わせた動画撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。
スマートフォン画面での撮影には、B（ブーメラン）アイコンを長押しする必要があります。

20. ランドスケープモード
ランドスケープモードは、水平線のあるような風景の撮影に適したモードです。
スマートフォン画面上部に、露出が表示し、グリッド表示と水準器が表示されます。
ランドスケープモードは、グリッド表示と水準器によりしっかりとした構図での撮影に最適です。
画面をタップすると、露出とフォーカスポイントが表示します。操作方法は、オートモードと同様の操作ができます。